

つながろう地域と！つなげよう未来へ！

地域の力で夢を育む 教育支援活動プログラムメニュー集



青森県教育委員会

はじめに

青森県教育委員会では、「キャリア教育の指針〈総論編〉」を平成24年3月に策定し、子どもたち一人一人の社会的・職業的自立に向け、郷土に愛着と誇りを持ち、チャレンジ精神にあふれる人間として育つよう、必要な基盤となる資質、能力、態度を培うことを通して、キャリア発達を促す教育に取り組んでいます。

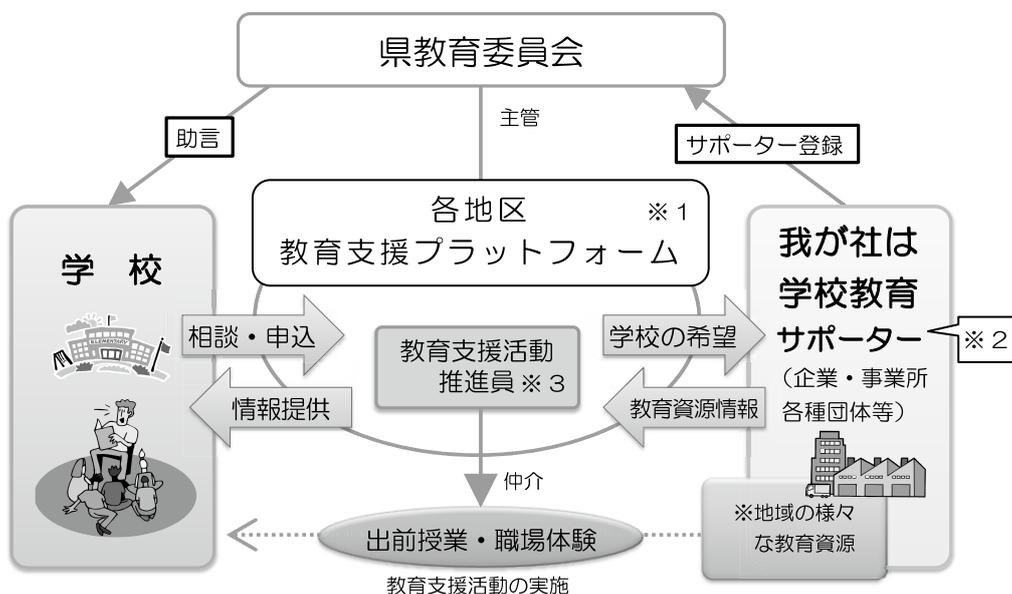
平成24～25年度に実施した、「地域の力で夢を育む教育支援プラットフォーム事業」では、学校における出前授業や職場体験活動等、キャリア教育の推進を図ることを目的に、「青森県教育支援プラットフォーム」を構築しました。

現在、教育支援プラットフォームを活用した学校からは、「出前授業や職場体験の子どもたちの選択の幅が広がった」等の声が、また、子どもたちからは、「仕事の楽しさ、大変さを学ぶことができた」、「仕事ではお客さんとのコミュニケーションが大切であることを学んだ」、「将来の夢実現に向けて努力したい」等の声が上がっています。また、企業・NPO等では出前授業への講師派遣や職場体験活動の受入れを行うことが社員の仕事への意欲向上につながり、教育支援活動に対する意識が高まっているとの声が聞かれます。

このたび、2カ年の事業の成果として教育支援プラットフォームを活用した学校の実践例及び企業・NPO等による出前授業や職場体験等のプログラムをまとめたメニュー集を作成しました。学校においては地域と連携したキャリア教育実践の参考に、企業・NPO等においては学校への教育支援活動の参考としていただき、キャリア教育の一層の充実が図られることを期待しています。

教育支援プラットフォームのしくみ

青森県教育支援プラットフォームは、学校・家庭・地域の「横の連携」によって、様々な学びの場や体験学習の充実を図るために、学校と地域の企業等を結ぶ仕組みのことで、このプラットフォームを活用することで、学校では、企業等が行う出前授業のプログラムや、職場体験等の受入れ先の紹介を希望に応じて受けることができます。



(図) プラットフォームの仲介の仕組み

※1 「各地区教育支援プラットフォーム」について

「地域ので夢を育む教育支援プラットフォーム事業」では、中南・上北・下北の3地区については、地区教育支援プラットフォームの運営を、各地域で活動するNPO等民間団体によって設立された地区協議会（正式名称：教育支援プラットフォーム〇〇地区協議会）が行いました。各地区協議会は、学校のニーズ調査、教育支援活動が可能な企業・NPO等を「我が社は学校教育サポーター」として登録の促進をすること、教育支援活動推進員の養成及び企業・NPO等による学習プログラムの開発とその実践に取り組んでいます。

※2 「我が社は学校教育サポーター」について

県教育委員会では、本事業の主旨に賛同し、学校を訪問して実施する「出前授業（職業講話）」、子どもたちが企業・事業所を訪問して行う「職場見学」、企業・事業所の仕事を体験する「職場体験」等を実施する企業・NPO等を、「我が社は学校教育サポーター」として青森県総合社会教育センターが登録を進めています（平成26年2月末現在838社が登録）。

※3 「教育支援活動推進員」について

教育支援活動推進員は、学校の希望に応じ、企業等が行う出前授業のプログラムの紹介や、職場体験受入れ先のコーディネートを行っています。県教育委員会では、学校・家庭・地域が協働してキャリア教育に取り組むことの意義、コーディネートのノウハウ等に関する研修を修了した方を教育支援活動推進員として委嘱しています。

【本書を利用するにあたって】

第1章では、「教育支援プラットフォーム」を活用した学校における実践事例を紹介しています。具体的には、活動の概要やねらい、当日の活動内容や事前・事後の取組の工夫、成果や今後の課題等についてまとめてあります。

第2章では、「我が社は学校教育サポーター」登録企業・NPO等による出前授業や職場体験等のプログラムを紹介しています。具体的には、プログラムのねらい・特徴とその内容、企業の担当者のメッセージや、子どもたちの感想についてまとめてあります。

第3章では、教育支援プラットフォームを活用するために必要な情報、県教育委員会で発行したキャリア教育推進のためのハンドブックや冊子等の紹介をしています。

必要に応じて各ページをお開きください。

目次

第1章「教育支援プラットフォーム」を活用した学習活動 学校での実践事例

- ①【小学校／総合】ユメココ教室（出前授業）・・・6
むつ市立第三田名部小学校
- ②【小学校／総合】夢を叶えるための私の進んだ道、そして今（出前授業）・・・8
青森市立橋本小学校
- ③【小学校／理科、社会】仕事体験学習（職場見学・体験）・・・10
十和田市立南小学校
- ④【小学校／特別活動、理科】ロボットを見よう、ロボットを学ぼう（出前授業）・・・12
三沢市立上久保小学校
- ⑤【～小学校低学年／国語、道徳】読み聞かせ会（出前授業）・・・14
社会福祉法人和洋会 あじゃら中央保育園
- ⑥【小学校／PTA活動】親子レクでできるキャリア教育（出前授業）・・・16
弘前市立船沢小学校
- ⑦【中学校／総合】夢をつかむための生き方（出前授業）・・・18
五所川原市立五所川原第一中学校
- ⑧【中学校／総合】職業講話（出前授業）・・・20
青森市立浦町中学校
- ⑨【中学校／課外活動】コナチュウ未来への架け橋講座（出前授業）・・・22
八戸市立小中野中学校
- ⑩【中学校／総合】職場発見活動（出前授業・職場体験学習）・・・24
青森市立西中学校
- ⑪【高等学校／総合】就業体験学習（インターンシップ）・・・26
県立青森南高等学校
- ⑫【高等学校／課外活動】就業体験学習（インターンシップ）・・・28
県立青森西高等学校
- ⑬【特別支援学校／総合】「働く」を学ぼう（出前授業・職場見学・職場体験）・・・30
県立黒石養護学校

第2章「我が社は学校教育サポーター」 登録企業・事業所の提案プログラム

- ①【理科、社会、家庭】小川原湖産白魚の生体観察、及び受精卵の観察・・・34
NPO 法人小川原湖しらうお研究会（上北郡東北町）
- ②【理科、総合】青森の木で作る循環型エネルギーの授業・・・35
NPO 法人青森バイオマスエネルギー推進協議会（三沢市）

第1章

「教育支援プラットフォーム」を 活用した学習活動

学校での実践事例



①【小学校／総合／出前授業】

ユメココ教室

【校名】むつ市立第三田名部小学校
 【学年】6年生（2クラス）45名

【教科等】総合的な学習の時間
 【単元等】様々な職業について調べよう

1 このような活動です

本校の6学年の総合的な学習の時間のテーマ「自分の将来の夢を探そう」（キャリア教育）に基づき、地域の様々な職業人による講話や体験を通して、生きること・働くことについて考えるきっかけづくりを行うものです。

2 授業の進め方

(1) 事前

- ①今年度の6学年は総合的な学習の時間のテーマが「自分の将来の夢を探そう」になり、4月から身近な人の職業を調べたり、興味のある職業について調べたりしていたので、その調べ学習が一段落した6月下旬に開催できるように教育支援プラットフォーム下北地区協議会（以下「地区協議会」とします。）に依頼しました。
- ②職種選定や企業との交渉、調整は教育支援活動推進員を通して行いました。
- ③職種選定に際して、担当推進員との相談で児童が一次産業に触れることが大切であるとの判断から漁業従事者を含めることにしました。
- ④各講師に「確認事項」、「講師の皆さんからのメッセージ」を記載してもらい、希望があれば会場の下見等もしてもらいました。
- ⑤事前にユメココ教室について説明し、児童からの質問を集め、地区協議会に送りました。また、学年通信で、父母の参観を呼びかけました。
- ⑥地区協議会長名で報道機関への取材を依頼をしました。

(2) 当日

- ①教育支援活動推進員の方が次のような役割をしてくださいました。
 - ・講師、スタッフの打合せ（講師・スタッフの紹介、日程説明等）
 - ・「全体会」「各ブース」への講師の案内
 - ・各ブースでの進行や質問の誘導等
 - ・記録写真の撮影

②ユメココ教室の開・閉会式の司会進行は児童が行いました。児童はあらかじめ選んでおいた2カ所のブースで、講師の話の聞いたり質問したり体験したりしました。

講師の皆さんからのメッセージ（例）

職種	警察官
所属	むつ警察署
氏名	総務課 ○○ ○○さん 刑事課 ○○ ○○さん
仕事について 動機	あるとき読んだ新聞に小学生の作文が載っていました。その作文には「おまわりさんは強くて優しい」と書いてありました。それを読んで、私も強く、優しく生きていきたいと思い、警察官になろうと思いました。
仕事につく ために必要な 勉強・資格	警察官は、大きく分けると「高校を卒業した人」と「大学を卒業した人」の2つの課程があります。だから、高校は卒業しなければなりません。その他、幅広くたくさん勉強することと、十分な体力を身に付けることが必要です。
仕事の内容・ 特色	県民のみなさんに事件や事故に遭わないように指導したり、泥棒や殺人などの事件の捜査をしたり、犯人を逮捕したり、交通違反の取り締まりをしたりしています。県民のみなさんが安心して安全に暮らせるようにしています。
やりがいを 感じる点 楽しい点 苦勞する点	やりがいを 感じる点：困っている人や事件や事故の被害に遭った人が笑顔になったときは、本当に嬉しいです。 楽しい点：たくさんのけいさつかんという心強い仲間と一緒に力を合わせて仕事ができることです。 苦勞する点：当直勤務があるので睡眠時間が短くなったり、事件や事故が発生すれば、夜中でも休みの日でも関係なく仕事をします。



日程			
スタッフ集合	10:00	会議室	
講師・スタッフ打合せ	10:15～10:25	会議室	
始めの全体会	10:35～10:45	体育館	児童が進行
(移動5分)			
職業体験学習1コマ目	10:50～11:20	各ブース	
(移動5分)			
職業体験学習2コマ目	11:25～11:55	各ブース	
(移動5分)			
終わりの全体会	12:00～12:15	体育館	児童が進行

※各児童は5つの職種から予め聞きたい2つの職種を決めておき、2つのブースを回ってその職業について学ぶ。

1コマ(30分)の内容

(1) ユメココ「と～く」・・・講師の仕事への思いや苦勞、やりがいなど仕事の特徴を伝えてもらう。

(2) ユメココ「体験」・・・仕事に係る作業等を体験する。

(3) 事後

- ①地区協議会長名で所属長、講師宛に礼状をお送りしました。
- ②後日、講師宛に児童の礼状、児童アンケート結果、教師アンケート結果、記録写真(CDデータ)をお送りしました。
- ③2学期の総合的な学習の時間では、将来の夢を1つに絞り、そのためどのような進路を選ぶのかを考えさせ、「未来夢新聞『15年後の僕・わたし』」を作りました。
- ④参観した4人の母親の中から、小学生の時からこのような経験ができてとても良いという感想が寄せられました。
- ⑤3学期の参観日には、地区協議会の方や講師の方を招待して、総合的な学習の時間の「将来の夢発表会」を実施しました。



3 成果と課題など

- ①調べ学習を終えた後に、ユメココ教室で話を聞いたり体験したりしたことで、将来の夢を探していた児童の夢が決まったり、なりたかった職種の講師にユメココ教室で会ってますますその職業に就きたいと願うようになり、自分のなりたい職業の他にも様々な職業があることに気づいたり、職種は違っても高校や大学に進学してたくさんの経験をすることが大事だと気づいたりすることができました。
- ②2学期に作成させた「未来夢新聞」では、どの児童も将来の夢をしっかりと持ち、15年後の自分を想像することができました。
- ③本校では、今年度から6学年の総合的な学習の時間のテーマが「自分の将来の夢を探そう」になったので、来年度以降もユメココ教室を開催していきたい。

4 「ユメココ教室」についての問合せ先

「ユメココ教室」は教育支援プラットフォーム下北地区協議会が主催する取組です。実施方法などについては下記連絡先へお問い合わせください。

【青森県教育庁生涯学習課】 電話：017-734-9888

②【小学校／総合／出前授業】

夢を叶えるための私の進んだ道、そして今

【校名】青森市立橋本小学校
【学年】4～6学年（38名）

【教科等】総合的な学習の時間
【単元等】夢をかなえるための生き方教室

1 このような活動です

総合的な学習の時間のテーマ「様々な職業を知り、自己の生き方を見つめよう」に基づき、青森市内の企業等の方を講師に招き、仕事の内容や喜び・苦勞、職に就くまでの経緯、選んだ理由、子どもの頃の興味や関心等についてのお話をさせていただきました。この講話を通して、児童自らが自主的・主体的に取り組み成長していくための心構えや、社会人として自立していくために、自らが今どのように目標を立て生活すべきかを考えさせるきっかけとする活動です。

2 授業の進め方

(1) 事前

- ①「我が社は学校教育サポーター」リスト一覧から4社を選び、県の担当者から各社連絡窓口を紹介していただきました。
- ②県総合社会教育センターホームページの「『我が社は学校教育サポーター』実践活動紹介」を参考に計画・立案しました。
- ③本校担当者が、各社担当者と当日の進め方や準備物（TV、プロジェクター、スクリーン、PC、移動黒板等）等について打合せを行いました。
- ④各社担当者に講話内容や児童の質問事項（事前にアンケート実施）をお知らせしました。
- ⑤児童に、4社について簡単に知らせ、話を聞いてみたい2社を選択させ、質問したいことについてアンケート調査を行いました。

【参考】アンケートのイメージ

講話希望調査用紙

橋本小では、〇月〇日（〇）の5校時に「夢をかなえるための生き方教室」という授業を行うことにしました。

会社やお店の方が学校に来て、ご自分の仕事について、子どもの頃の夢などについてお話してくれるというものです。

そこで、みなさんにどのような会社やお店の方のお話を聞きたいか希望をとりますので、聞きたい順に番号を付けてください。下の各会社から選んでください。

ただし、人数の関係で第1希望の通りにならないことがあります。

年 組 番 名 前		
順	会社名	聞きたいお話の内容・質問など
1		
2		
3		
4		

・青森モータースクール ・ペットトリミングスクール
・日本赤十字社 ・青森ガス

(2) 当日

- ①集会室に全員が集合して「始めの集い」と「終わりの集い」を行いました。
- ②企業毎に4教室に分かれ、前半・後半と2回同じ内容の講話を実施しました。また、各社では、子どもにわかりやすいように写真や映像等を使い、クイズ等を取り入れた講話を展開してくださいました。
- ③児童は、4社の中から2社を選択し、前半・後半でそれぞれの教室に移動して講話を聞きました。児童は、講話を聞き、仕事で使う様々な道具の実物や写真、映像を見て、わかったこと、

質問への答え、感想等をワークシートに書いていきました。

④保護者参観週間・懇談日に設定したので、多数の保護者にも参観していただきました。

また、4名の教育支援活動推進員も参観しました。

※当日の日程（55分授業で実施）

13:15～13:30	講師打合せ・準備
13:35～13:39	はじめの言葉・講師紹介（4分）
	移動・準備（2分）
13:41～14:01	講話・体験①（20分）
	移動・準備（2分）
14:03～14:23	講話・体験②（20分）
	移動（2分）
14:25～14:30	感想発表・おわりの言葉（5分）



(3) 事後

- ①ワークシートをもとに、わかったことや質問への答え、感想等を各学級で意見交換し、学習のふりかえりを行いました。
- ②各社へ感想文やお礼状を書いて送りました。
- ③各社からいただいたお礼状の返事を児童に紹介しました。子どもたちからは、もっと様々な職業について知りたいという意見が出されました。

3 成果と課題など

- ①教育支援プラットフォームの活用により、講師選定、派遣依頼、礼状作成等の労力負担が軽減できました。
- ②保護者の参観日に合わせて授業を設定したので、保護者も、様々な職種について理解を深めることができました。また、家庭でも話題にできたと好評でした。
- ③各社からは、「自分たちの仕事を振り返ることができました」「初心にかえることができました」「とても良い経験となりました」というお話をいただきました。

4 この授業に協力した事業所について

企業・団体名	当社ができること
青森ガス株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ・職場見学では、都市ガスがどのように製造、供給されているのかを見学できます。 ・職場体験では、都市ガスの製造、供給からガス工事の立ち会い、ガス機器のメンテナンス、調理実習まで、ビジネスマナーを含めて体験していただきます。
ドギーベットトリミングスクール青森校	<ul style="list-style-type: none"> ・出前講座では、動物（犬）の歴史、しつけ方、動物愛護、マナーなどのお話ができます。トリマーやトレーナーになりたい方への説明ができます。
日本赤十字社青森県支部	<ul style="list-style-type: none"> ・出前講座では、赤十字職員やボランティア、赤十字救急法指導員など赤十字の人材を講師として派遣します。 ・その他、地域に組織されている赤十字奉仕団との合同研修会など、学習の場を提供します。
青森モータースクール	<ul style="list-style-type: none"> ・出張各種交通安全教室（保育園～高校） ・出張職業案内（自動車教習所という仕事について）

実施内容や条件等の詳細は各企業にお問い合わせください。この他にも各地区に同じような業種の企業・団体等がありますので「我が社は学校教育サポーター」リストをご覧の上お問い合わせください。

「我が社は学校教育サポーター」で検索

③【小学校／理科、社会／職場見学・体験】

仕事体験学習 ～化学の仕事について学び、自分だけの香りづくりをしよう～

【校名】十和田市立南小学校

【教科等】理科、社会

【学年】5年生109名

【単元等】ものの変化（理科）

1 このような活動です

（理科・社会科の学習との関連から）

- ・地域の人々の暮らしに役立つ「化学製品」を生産している工場を見学したり、担当者のお話を聞いたりする活動を通して、理科の「ものの変化」、社会科の「日本の工業」の学習内容と関連させながら、理科で学習した「ものの変化」を応用し、これまでの学習を発展的にまとめる活動です。

（キャリア教育の視点から）

- ・本校では、なぜ学ばなければならないのか、何を学ぶべきかの「目的意識」に裏打ちされた学習意欲をもつことが、子どもたちの「自立」の土台になると考えてキャリア教育の視点を各教育活動に取り入れています。社会の中の本物に出会い、働くことの喜びを味わい、世の中の実態や厳しさを知った上で将来の生き方に夢をもち、その実現をめざして、学校での学びに取り組むことが「生きる力」としての学力向上につながると考えています。
- ・そのため、今回は「化学に関する仕事を目指した理由」を中心とした講話、化学の技術を活用した「自分だけの香りづくり」の体験学習を通して、上記のキャリア教育の目標を具現化させたいと考えています。

2 授業の進め方

（1）事前

①教育支援プラットフォーム上北地区協議会（以下「地区協議会」とします）に「仕事体験学習」ができる企業や職場できる職場を複数推薦していただき、学年スタッフで協議し、「住友化学（株）三沢工場」に依頼することになりました。

※「小川原湖青年の家」での宿泊学習に行く前に体験する行程を組みました。

②企業側には、「講話」と「仕事体験」を柱にしたい旨を伝え、電話で数回、さらには実際の現場で事前打合せを行いました。

※109名という人数、その上、宿泊学習へ行く前の2時間という時間的制約にも関わらず最大限の準備をしていただきました。

（2）当日



①住友化学三沢工場で製品研究をされている方から小学生時代の夢、大学で「化学」を研究したいと思ったきっかけ等をスライドを使って講話していただきました。



②次に「ものの変化」の化学実験をライブでみせていただきました。住友化学三沢工場の体育館に大きなスクリーンが設置され、手もとまでよく見えるわかりやすい実験でした。



③「水吸収ポリマー」の中で水がどのように吸い込まれるかを顕微鏡を通した実際の画像を通して体験しました。それをスクリーンで見っていた子どもたちも驚きの声をあげました。



④いよいよ全員で「自分だけの香りづくり」に挑戦です。化学実験をする時の基本として「手袋」「ゴーグル」を着用するように指導を受けました。また、その他の注意事項も真剣に聴くことができました。

⑤慎重に化学物質を扱って「香りづくり」の実験に取り組みました。各班にそれぞれ住友化学三沢工場のスタッフがついてくれたので、すぐに質問に答えてくださり、大変勉強になりました。

※当日の日程

9:00～ 9:05	担当者挨拶
9:10～ 9:30	住友化学工場紹介（DVD）
9:35～ 9:50	講話「住友化学で働くわたし」
9:50～ 10:00	休憩
10:00～ 10:50	仕事体験「自分だけの香りづくり」
10:50～ 11:00	担当者挨拶
11:00～	退場、バスの車窓から工場見学

(3) 事後

- ①宿泊学習のプログラムに「仕事体験学習の礼状を書こう」を入れ、すぐに全員でお礼のお手紙を書きました。
- ②礼状は、学年主任が直接工場へ手渡しに行きました。その姿を児童に見せることで、「体験して終わり」「楽しかった」だけではなく、「貴重な時間を割いて教えてくださった方々へ感謝の気持ちを伝えること」の大切さを指導しました。また、地区協議会へのお礼と指導後のアンケートにも回答しました。

3 成果と課題

- ①校長、教頭、教務主任、学年主任で今回の「仕事体験学習」を検証し、児童の意欲が昨年度までの「宿泊学習」より高まったことが確認できたので、次年度も継続することとし、次の学年への「引き継ぎ資料」をまとめました。
- ②5年生の児童はその後、4月から取り組んでいる「稲作体験学習」の「稲刈り」「脱穀」体験を行いました。この場面でも昨年度の活動より意欲がみられ、農家の方からは「真剣に稲刈りができている」とお褒めの言葉をいただきました。
- ③地区協議会の支援があったからこそ、今回の「仕事体験学習」は実現できたと考えています。
- ④課題としては他学年の職員より「5年生の子どもたちの体験内容を他の学年の子どもたちへ教えて欲しい」と言われました。下級生への「発表会」、また、校内研修を活用しての「事例報告」など、自分の学年だけで終わることなく、校内における「縦の連携」も必要だと思いました。

4 この授業に協力した事業所について

企業・団体名	当社ができること
住友化学株式会社 三沢工場	・当工場では、主に家庭・防疫用殺虫剤の開発とその原体を製造しており、工場見学の受け入れができます。

他にも、ものづくりを見学、体験することができる企業・事業所がありますので「我が社は学校教育サポーター」リストをご覧の上お問い合わせください。

「我が社は学校教育サポーター」で検索

④ 【小学校／特別活動、理科／出前授業】

ロボットを見よう、ロボットを学ぼう

【校名】 三沢市立上久保小学校

【教科等】 特別活動、理科

【学年】 4～6年生29名

【单元等】 クラブ活動「エジソンクラブ」

1 このような活動です

八戸工業大学の先生や学生、NPO 法人テイクオフみさわの方をゲストティーチャーに迎え、大型の空飛ぶロボット（飛行ペンギン）や大学生が製作した数種類のロボットを見せてもらい、ロボットが動く仕組みを学ぶことにより、児童の科学への興味・関心を高めさせる取組です。

2 授業の進め方

(1) 事前

- ①教育支援プラットフォーム上北地区協議会（以下「地区協議会」とします）にクラブ活動の講師について相談し、飛行ペンギンの実演の提案を受けました。そこで教育支援プラットフォーム事業紹介連絡票を提出し、地区協議会の仲介により、八戸工業大学機械情報技術学科の教員とその研究学生グループの支援を受けることになりました。
- ②学校では場所、時間などの受入れ態勢を整えました。
- ③事前に講師に活動場所を下見してもらい、場所を確定しました（体育館と図工室に決定）。
- ④ロボットの機器の搬路確保、及びロボット演習場所電源確保とスクリーンを準備しました。

(2) 当日

- ①講師、学生は早めに来校していただき、展示の準備を行いました。
- ②空飛ぶペンギン見学（13：30～13：50クラブ活動時間前に展示飛行）



体育館で空飛ぶペンギン展示飛行を行いました。（操作：大学生）

児童は大きなペンギンが旋回する・上昇する・下降するときの翼の動きや仕組み、飛ぶために軽くしている材質などについて学びました。また、ゆっくり旋回しながらはばたいて飛ぶ様子に児童たちは驚き目を輝かせていました。

③ロボット展示（14：00～15：30）



図工室に場所を移し、6つのロボットの学習をしました。

はじめに各ロボットのしくみについて大学生からプロジェクターを使って説明がありました。その後実際に動く様子をグループごとに見学し、また、児童らはロボットを触りながら動く仕組みを学んでいました。

6つとも動き方や想定した使われ方が全く異なるものであり、また、児童は自由に質問したり、触ったりすることができたため、児童は非常に興味深そうに動きを観察していました。また、身近な材料を使っていたり、ねじの一つから学生が金属加工したりして、手作り感満載のロボットだったことと、動きをパソコンにプログラミングすることも学生が全部していたことで、児童は興味を持って見るすることができていました。

最後に大学の先生からロボットの可能性と有用性についてお話しいただき、児童からは学習の感想を話して終了となりました。

(3) 事後

次のクラブ活動の時間に活動のふりかえりを児童に書かせ、普段できない貴重な体験ができたことを喜ぶ感想が多く見られました。

3 成果と課題

- ①教育支援プラットフォームを活用したことで講師選定や活動内容の打ち合わせ、また当日は大学生の力も借りることができ、準備や後片づけにおける教員の負担が軽減されました。
- ②地区協議会のアドバイスにより、活動プログラムの計画立案や事前準備の確認がスムーズに行え、児童が校外に出ることなく貴重な体験をすることができました。
- ③児童は、様々なロボットに触れ、設計・プログラム・製作の段階で大学生が何度も試行錯誤して作り上げてきたことを学ぶことができました。また、大学の高等教育に触れ、学生がロボットを一から手作りしていたことも児童にとっては身近に感じられ、将来の学ぶヒントにもつながったのではないかと思います。
- ④児童からは大変楽しく勉強になったという感想や、成功するまでに努力があったことへの賞賛の声が上がっていました。科学に触れ、科学に対する興味関心を高めるのにとっても有意義な学習でした。

4 この授業に関する連絡先

「飛行ペンギン」の出前授業を希望される場合、下記連絡先へお問い合わせください。

【青森県教育庁生涯学習課】 電話：017-734-9888

⑤ 【～小学校低学年／国語、道徳／出前授業】

読み聞かせ会

【校名】 社会福祉法人和洋会あじゃら中央保育園
【学年】 ※小学校低学年まで対応可

【教科等】 国語・道徳等

1 このような活動です

【テーマ】 絵本・手遊び・歌遊び：イメージを広げながら絵本の読み聞かせを楽しみ、言葉のリズムの楽しさを味わう。

【概要】 3名の弘前大学教育学部の学生（幼児教育専修）を招き、0～5歳児の子どもたちを対象に手遊びや歌遊びを取り入れながら絵本の読み聞かせをしていただきました。

2 授業の進め方

(1) 事前

- ①教育支援プラットフォーム中南地区協議会（以下「地区協議会」とします）に仲介を依頼しました。まず、園内で決めたテーマを教育支援活動推進員の方へ伝え、その方を通して大学への受入れの打診を手伝っていただきました。
- ②大学生の作成した指導案を参考に、教育支援活動推進員の方と当日のスケジュールについて事前の打合せを行いました。
- ③教育支援活動推進員を通して、関係団体や地域の保育園の先生方、報道機関へ出前授業の案内を行いました。

(2) 当日

- ①初めに園側で学生を紹介しました。
- ②進行は、大学生が指導案に沿って行いました。
内容は、読み聞かせと、その合間に手遊びや歌遊びを取り入れたものでした。
対象は0～5歳児の57名と幅広い年齢で人数も多かったのですが、絵本の世界に引き込まれ言葉のリズムのおもしろさを味わったり、手遊び・歌遊びでは繰り返す動作や体を動かす楽しさを感じることができました。

※内容

9:50	園児入場
10:00	読み聞かせ開始
読み聞かせ、歌・手遊びで9つのメニューを実施 ・ナンセンス絵本で言葉のリズムの楽しさを味わう。また手遊び歌では、体を動かす楽しさを味わう。 ・それぞれの絵本がもつ世界の、イメージを広げて楽しむ。また手遊び歌では、繰り返す動作の楽しさを味わう。 ・それぞれの絵本の内容を理解したうえで楽しむ。また手遊び歌では、お友達と一緒に動くことの楽しさを味わう。	
11:00	終了
その後、ふりかえり実施	



(3) 事後

活動後、大学生3名と指導教官、園長・主任、地区協議会会長・教育支援活動推進員等でふりかえりの時間を設けました。

3 成果と課題

- ①教育支援プラットフォームを活用したことで、講師選定、事前の打合せの労力にかかる負担が軽減できました。
- ②教育支援活動推進員の仲介により、大学との連絡、意思疎通がスムーズに行えました。
- ③集中力が限られている子どもたちに1時間と少し長めの時間ではありましたが、大学生の創意工夫で子どもたちも職員も楽しい時間を過ごさせていただきました。大学生にとっては、貴重な実践の場となったようでした。
- ④弘前大学の先生方・教育支援プラットフォーム推進員・地域の保育園の先生方など沢山の方に来園していただき、情報交換や交流を深める良い機会となりました。

4 この授業に関する連絡先

大学生による読み聞かせ会は、教育支援プラットフォーム中南地区協議会が主催して行った取組です。実施方法などについては下記連絡先へお問い合わせください。

【青森県教育庁生涯学習課】 電話：017-734-9888

《参考》

「我が社は学校教育サポーター」には、次のような教育機関の登録もありますのでご活用ください。[「我が社は学校教育サポーター」で検索](#)

企業・団体名	当社ができること
あおもり コンピュータ・カレッジ	<ul style="list-style-type: none"> ・出前授業、授業支援(コンピュータに関する授業) ・職場見学では、当校の見学会を実施しています。 ・職場体験では簡易授業を体験できます。
青森歯科衛生士・技工士 専門学校	<ul style="list-style-type: none"> ・出前授業や職場見学では、歯科衛生士、歯科技工士の職業紹介や体験実習が可能です。 ・その他、歯磨き指導、歯のチェックもできます。
青森県立 青森高等技術専門学校	<ul style="list-style-type: none"> ・施設見学では、各科の実習風景を見学できます。 ・職場体験では、高校生のインターンシップ先として受け入れできます。 ・その他、技能教室(体験見学会)では、各科の簡単な作業を体験できます。
青森中央経理専門学校	<ul style="list-style-type: none"> ・出前講座では、マネー講座として「お金」に関するライフプランゲームを開催することができます。
青森中央文化専門学校	<ul style="list-style-type: none"> ・出前授業では、ファッション・アパレル業界に関する職業理解やマナーの講義、また、カラーコーディネーターやハンディクラフトの実習など各種出前講座を多数ご用意しています。リクエストにも応じますので、ぜひご相談ください。
青森明の星短期大学	<ul style="list-style-type: none"> ・出前講座では、保育士・介護福祉士の仕事の内容や資格取得方法等を学ぶことができます。 ・職場見学では、短期大学内の様子や模擬講義等も体験できます。大学教員の仕事についての講話も可能です。
青森公立大学 国際芸術センター青森	<ul style="list-style-type: none"> ・出前授業、職場見学、職場体験それぞれにおいて、アートセンターという文化施設や、そこでの仕事についての理解を深めたり、図工・美術科を発展させた創作体験やレクチャーを行うことができます。

⑥ 【小学校／PTA活動／出前授業】

親子レクでできるキャリア教育

【校名】 弘前市立船沢小学校

【教科等】 P T A 活動

【学年】 1年生16名、保護者等25名

【単元等】 親子レク

1 このような活動です

- ① 1年生の保護者は、初めて顔を合わせるといことで、子と子、子と親、子と友だちの親、また、保護者同士も仲良くなれるように工夫した活動です。
- ② 講師からはキャリア教育の視点に立った家庭教育、具体的な言葉がけの方法などを、保護者に伝える機会としました。

2 授業の進め方

(1) 事前

- ① 教育支援プラットフォーム中南地区協議会（以下「地区協議会」とします）に相談を行い、講師派遣の依頼を行いました。
- ② 講師との事前の打ち合わせは、学年理事を務める二人の保護者が担当しました。
- ③ 事前に準備物として新聞紙やセロテープを用意しました。

(2) 当日

- ① 講師によるお話と読み聞かせ「おこだてませんように」
- ② 親子であんよせらび一体験



- ③ 自己紹介+おんぶじゃんけん（親子がばらけるように）
- ④ 新聞紙を使った造形遊び



(3) 事後

保護者の方に感想を書いてもらいました。

【主な感想】

- 絵本の読み聞かせ、活動の中で子どもに対する言葉かけについてなど、母親業の先輩である講師のお話は興味深かったです。
- あんよセラピーを通して、マッサージする方もされる方もどちらにも、癒しの時間となりました。子どものイライラを抑える効果があり、親子でゆったりとした時間を共有することなどが必要であることを改めて知ることができました。
- 新聞を使った遊びが一番心に残っています。お金をかけずに新聞を使って多くの子どもたちが楽しめるということが勉強になりました。
- 子どもたちを通して、学校での生活の様子を少しでも見られた気がしたので、良い時間を過ごすことができました。

3 成果と課題

- ① 予想以上の反響があり、楽しい雰囲気の中でキャリア教育の視点に立った親子レクができました。
- ② 読み聞かせは子育てについていろいろ考えさせられる機会となり、参加した人の心に深く残りました。また、お母さん方が、我が子だけでなく、我が子の同級生を知り、同級生の親とも知り合う機会をつくる良い機会となりました。
- ③ 学年理事と講師との打合せでは、特に熱いメッセージをいただきながら進められました。今回の親子レクを通して次に取り組みたいことが見えてくる有意義な機会となりました。
- ④ 新聞を使った造形遊びは、大人の協力があって、ダイナミックに楽しめるものとなり、満足感のある活動になりました。

4 この授業に協力した事業所について

企業・団体名	当社ができること
スマート フットワーク	• 出前授業では、フットセラピーという職業について、社会人としてのマナーやコミュニケーションについて、体験型のワークショップができます。また、起業についてのお話も可能です。

《参考》

「我が社は学校教育サポーター」には、PTA、社会人向け研修会、講演会等での講演など実績のある事業所もありますのでご活用ください。なお、企業・事業所によって、内容や条件が異なりますので、詳細はリストをご覧の上お問い合わせください。

「我が社は学校教育サポーター」で検索

地区名	事業所名
【全県】	日本銀行青森支店
【東青】	(株) ニュークリーン、青森県立美術館、(福) 青森和幸会和幸保育園、青森県立青森高等技術専門校、(福) 青森県玉葉会救護施設白鳥ホーム、(株) 青森テレビ
【西北】	(福) つがる市社会福祉協議会
【中南】	写真館ハセガワ、弘前地区消防事務組合、ローソン弘前茂森町店・弘前樹木店・弘前湯口店
【上北】	十和田地域広域事務組合十和田・六戸学校給食センター、私立ほなみ保育園、
【下北】	むつ科学技術館
【三八】	椿の会(表千家茶道教室)、(有) サンニサン

⑦ 【中学校／総合／出前授業】

夢をつかむための生き方

【校名】 五所川原市立五所川原第一中学校
 【学年】 1年生249名

【教科等】 総合的な学習の時間、道徳、学級活動
 【単元等】 職業講話

1 このような活動です

様々な職業あるいはその職業を目指して努力している方から講話を聞き、自分の将来に対して展望を持ち進路について真剣に考える機会を作り、来年度の職業体験学習に向けて、仕事につく意義や職業の特徴についての理解を深める学習です。

2 授業の進め方

(1) 事前

- ①学年集会で職業講話について、大まかな説明を行い、興味のある職業についてのアンケートを実施しました。その内容を集計し、依頼したい職種について絞り込みました。
- ②実施する講話が決定後、二次アンケートを実施し、当日参加する生徒数を決めました。
- ③各講話に分かれる前に、夢をもって職業について学ぶ意識を啓発するため、学年の生徒全体で聞く講話を設けることとしました。
 ※②・③を行う際に教育支援プラットフォームを活用し、講師の仲介依頼を行いました。
- ④道徳の時間を使い「働くことの意義」について、資料を用いて考える学習を行いました。
- ⑤学級活動の時間を利用し、各講師の方に質問したいことを考えさせました。それを講話ごとにまとめ、各講師と確認しました。また、当日の司会や進行等の分担を決めました。
- ⑥講話の進行を担当する生徒、お礼の言葉と言う生徒へ当日の動きの指導を行いました。
- ⑦前日放課後に会場準備を行いました。

(2) 当日の取組の流れ

- ①朝の会で事前指導
- ②体育館に移動し、開会式
- ③斎藤春香さんの講話
 (質問や感想発表なども)
- ④各教室に移動
- ⑤事前に決めている2つの講話を聞く
- ⑥感想文・お礼状の作成
- ⑦学年集会

《職業講話希望コース二次アンケート》

平成〇〇年〇月〇日 (〇)
 1 学年総合担当

〇月〇日 (〇) に行われる職業講話について、あなたが聞きたいと思う講話を次の項目から選び、第4希望まで、下に番号で答えてください。ただし、希望者が多い場合には別の講話に参加することになることがありますのでご了承ください。

番号	職業	講話内容
1	洋菓子職人	洋菓子職人の仕事について
2	美容師	美容師の仕事についての説明
3	ホテルなどの宿泊業(パークイン五所川原)	ホテルやホステリティーについての説明
4	広田保育園	保育士についての仕事の説明
5	五所川原消防署	消防士の仕事についての説明
6	五所川原警察署	警察官の仕事についての説明
7	有限会社アイマックス	グラフィックデザイナー、イラストレーターなどの職業について、実例をもとに講話
8	五所川原市高等看護学院	看護士の仕事についての説明
9	増田病院	医師の仕事についての説明
10	ビジネスサービスサービス株式会社	コンピューターを使う仕事についての説明

1年 組 番 氏名

第1希望	第2希望	第3希望	第4希望





(3) 事後

- ①講師の方にお礼状を作成し送付しました。
- ②講話で学習したことに基づいて個人新聞を作成しました。

3 成果と課題

- ①職業について、具体的に考える機会となり、実際の目標としてとらえる生徒の姿が見られるようになりました。
- ②生徒の事前活動は、当日の質問に関わる内容がほとんどだったので、簡単な体験活動を入れるなど、事前活動の構成に工夫が必要かと思いました。
- ③過去の体験学習で協力していただいた企業が地元によくあるので、学校の情報を生かす手立てを探る必要があります。

職業講話 記録用紙

1年 組 番 氏名

講話名			
〈当日の日程〉			
開会式（進行：学年年生徒会）	9：00～9：15	給食	12：30～13：00
①開会の言葉 ②校長先生より③生徒代表の言葉		昼休み	13：00～13：30
④主任より⑤諸連絡⑥閉会の言葉		まとめ	13：30～14：20
講演会（斎藤春香さん）	9：25～10：25	移動休憩	14：20～14：30
職業講話 講話Ⅰ	10：45～11：25	学年集会	14：30～14：45
職業講話 講話Ⅱ	11：35～12：15	清掃	14：50～15：05
閉会式（各教室）	12：20～12：30	帰りの会	15：10～15：25
講話の内容			
質問とその答え			
①			
②			
③			
④			
⑤			
⑥			

4 この授業に協力して頂いた「我が社は学校教育サポーター」事業所について

企業・団体名	当社ができること
株式会社 パークイン五所川原	<ul style="list-style-type: none"> • 出前講座や職場見学では、ホテルやホスピタリティについて説明や質問に対応します。 • 職場体験では接客マナーの他、客室清掃、フロント業務、レストランホール係を体験できます。
有限会社 ティーマックス	<ul style="list-style-type: none"> • 出前授業では、グラフィックデザイナー、イラストレーターなどの職業について、実例をもとにした講話を行います。 • 職場体験、インターンシップでは、実技指導を現場のデザイナーが行います。（高校生対象）
社会福祉法人清澄会 広田保育園	<ul style="list-style-type: none"> • 保育士の仕事についてのお話、職場見学、職場体験、保育実習ができます。
株式会社 ビジネスサービス	<ul style="list-style-type: none"> • 出前講座では、1. インターネットとセキュリティ、2. システム開発（プログラマ、SEの仕事とは等）、3. スマートフォン、タブレットPCの利用・セキュリティなどに関する講話を行うことができます。

職業講話に協力してくださる企業・事業所は多数ありますので「我が社は学校教育サポーター」リストをご覧の上お問い合わせください。 「我が社は学校教育サポーター」で検索

⑧ 【中学校／総合／出前授業】

職業講話

【校名】 青森市立浦町中学校
【学年】 1～3年生465名

【教科等】 総合的な学習の時間
【単元等】 職業講話

1 このような活動です

【テーマ】 さまざまな職業、あるいはその職業を目指して努力している方から講話を聞き、自分の将来に対して展望を抱き、キャリア教育について真剣に考える機会とします。

【概要】 生徒から話を聞いてみたい職業のアンケートをとり、13人の講師を決定し、事前に送付した質問の答えも含みながら、13の教室に分かれて講話をしていただきました。将来の夢について、実際に聞いた話を参考にしながら自分のこれからの生き方の参考にしました。

2 授業の進め方

(1) 事前

- ①興味のある職業についてアンケートを実施しました。
- ②コースを決定し、生徒全員に質問用紙を配布しました。その後質問項目をまとめて、講師の方に渡しました。
- ③リーダー、司会者、質問生徒、お礼を述べる生徒の決定、打ち合わせをしました。
- ④13のコースについて、職員の中から担当者を決定し、それぞれ事前の打ち合わせを行いました。

事前の流れ

日 時	内 容
1学期	興味ある職業についてのアンケート実施 コース決定
8月22日(木)	欠席者のコースの決定と調整
8月26日(月)	職員会議、質問用紙配布
8月27日(火)	リーダー、お礼、質問生徒決定(各担当者→秋村) 質問用紙回収(学担)
8月29日(木) 職員集会	最終確認(当日の動き、役割分担など)
8月30日(金) 昼休み	事前質問生徒と内容の確認(多目的ホール 秋村) 質問用紙の発送 各担当者と講師の最終確認(電話連絡)～2日
9月2日(月) 放課後	担当教師とリーダー、お礼の生徒との打ち合わせ (会議室)*保護者用配布
9月3日(火) 放課後	会議室の机、イス準備(清掃担当者)
9月4日(水) 昼休み	パソコン、プロジェクター等の準備

質問事項の例

- (1) ITの仕事をしてよかったこと、苦労したことは何ですか。
- (2) なぜITの仕事をしたと思ったのですか。
- (3) どうしたらITの仕事ができますか。資格は必要ですか。
- (4) どんな時にやりがいを感じますか。
- (5) 主にどんな仕事をしているのですか。
- (6) 今から努力することや求められる能力があったら教えてください。
- (7) この仕事につくには、5教科の中で何が一番重要ですか。
- (8) 1日の勤務時間は何時間ですか。
- (9) 日々気をつけていることは何ですか。

(2) 当日

- ①講師の方には、それぞれ13の教室に分かれ、50分程度の講話をしていただきました。
- ②生徒には事前に講師の方の氏名や勤務先などを書いた一覧表と、感想を記入する用紙を渡しておきました。
- ③職員で担当者を決め、すべてのコースの記録写真撮影を行いました。
- ④リーダーとなった生徒は、座る場所の指示など始まる前までの指示を、その後は司会者となった生徒が進めていく形をとりました。
- ⑤講話が終了した後、生徒からの質問を受け付けました。

⑥終了後、教室に戻ってから、講話の感想文を記入しました。

(3) 事後

講話の内容を担当の職員にまとめてもらったものと、生徒の感想文、当日の様子がわかるような写真や今回の要項などを、「職業講話のまとめ」として冊子にまとめ、講師の方と職員全員に配布しました。講師の方々にはお礼も兼ねて持参しました。



4 成果と課題

- ①今回は「青森県教育支援プラットフォーム」、「青森県広報広聴課の出前トーク」「青森中央短期大学の出前講座」の3カ所に講師の選定をお願いしたので、13の講師のうち8人の講師をすぐに決定することができました。
- ②どの講師の方も快く引き受けてくださり、その後の打ち合わせなどもスムーズに行うことができました。
- ③学校祭への招待のお知らせをしました。
- ④課題としては、実習を伴う講話で、料金が発生するものがあり、調理実習では作ったものを生徒が持ち帰るため、材料費の実費負担をしてもらったり、使う道具を家から持ってきてもらうなどの準備が必要となりました。コース決定の際には料金について誰が負担するのかははっきりと決定していなかったため、料金がかかる場合はコース決定の前に負担金額をきちんと生徒に明示しておくべきでした。

4 この授業に協力して頂いた「我が社は学校教育サポーター」事業所について

企業・団体名	当社ができること
青森スポーツ クリエイション株式会社	<ul style="list-style-type: none"> • バスケットボール教室（クリニック）を通して、バスケットボールの楽しさを覚え、健全な精神を育成するお手伝いをします。
コンディトライ アルパジョン	<ul style="list-style-type: none"> • 出前授業では、学校へ出かけて行っての、ケーキなどの作成、展示、実習等に対応できます。
社会福祉法人青森和幸会 和幸保育園	<ul style="list-style-type: none"> • 保育業務についてのゲストティーチャーの派遣 • 職場見学の受け入れ • この他、保育ボランティアも受け入れます。
あおもり コンピュータ・カレッジ	<ul style="list-style-type: none"> • 出前授業、授業支援（コンピュータに関する授業） • 職場見学では、当校の見学会を実施しています。 • 職場体験では簡易授業を体験できます。

職業講話に協力してくださる企業・事業所は多数ありますので「我が社は学校教育サポーター」リストをご覧ください。 「我が社は学校教育サポーター」で検索
 ※教育支援プラットフォームによる仲介により、サポーター事業所ではありませんが、ヘアアートカレッジ木浪学園（青森市）、みつばち薬局（青森市）にもこの授業に協力していただきました。

⑨【中学校／課外活動／出前授業】

コナチュウ未来への架け橋講座

【校名】 八戸市立小中野中学校

【教科等】 課外活動

【学年】 1、2年希望者

【単元等】 職業講話

※この活動は、教育支援プラットフォームを活用した取組ではありませんが、講師の仲介をされている学校支援地域本部地域コーディネーターの方が教育支援活動推進員としても活動しており、一部講座については「我が社は学校教育サポーター」登録事業所による講話もあることから、プラットフォームを活用する際にも参考になる事例として紹介します。

1 このような活動です

(1) テーマ：先輩やふるさとで働くプロフェッショナル（仕事人）から学ぶ

(2) ねらい

- ①キャリア教育の一環として、子どもたちが将来社会へ巣立つ際に、より具体的に夢を描き、実現しようとする機会としています。
- ②私たちが住む地域には、様々な職業において高い技術をもっている方が多く住んでいます。そこで、実際に現場で活躍する方々から、その仕事に関する志や責任などの生きた話を聞き、小中野地区への愛着心を育てたいと考えています。
- ③講師の選定に当たっては、生徒の希望に基づき、地域住民や先輩など周囲の身近な方々を対象とし、かしこまらず親近感のある学びの場を提供するものとします。

(3) 講演依頼内容

- ①自分の進路選択・決定を参考に、先輩として中学生にアドバイスしたいこと
- ②職業に関する仕事の内容や特徴的なところ
- ③その職業の仕事をこなす陰にある見えにくい喜びや苦労
- ④この職業を志したいきさつ
- ⑤今のうちに身に付けてほしいこと など



2 授業の進め方

(1) 事前

- ①生徒希望を参考に校長と学校支援地域本部地域コーディネーターで協議し今年度の講話の候補者を選出しました。
- ②講師との交渉はコーディネーターにお願いしました。あわせて講師に対する説明資料、派遣依頼等を準備しました。
- ③今年度は6講座開設予定で進めています。

職種	依頼先事業所等	備考
自転車競技選手	鹿屋体育大学	卒業生
パン職人	アンジェリーナ	学区企業
看護師	はちのへハートクリニック	卒業生
女優	劇団やませ代表	学区住民
カメラマン	フォトショップアイズ	学区企業
コンピュータ関係	サン・コンピュータ	学区企業



④参加者の募集 毎回20人程度の参加を想定しています。

(2) 当日（講演会の流れの例）

※実施時間帯 16:15~17:00（45分程度）

※司会進行はコーディネーターにお願いしています。

- ①開講のあいさつ（3分） 講師・職場などの紹介をします。
- ②講話（30分） DVD や実物を交えてお話をさせていただきます。
- ③質疑応答（10分） 生徒からの質問にその場で答えていただきます。
- ④生徒からのお礼の言葉（2分）

(3) 事後

- ①参加生徒は感想をワークシートに書いて提出しました。
- ②一部の生徒の感想文は、昼の放送を使って発表しました。
- ③担当者が講師への礼状を作成し、送付しました。

平成25年度「コナチュウ 未来への架け橋講座」（第3回）
 ~身近なプロフェッショナル(仕事人)から夢を学ぶ~
 職業: 看護師 センター
 講師: ○○ さん(八戸ハートクリニック)
 日時: H26.1.24(金)

= 感想 = 2年1組 氏名

私は○○さんが「小さい頃は注射の上手い看護師と下手な看護師の違うを調べていた」と聞いたとき、他の人は違う観点から物事を見ることができていると思いました。○○さんがお父さんと作ったおからのプランという発想にも驚かされました。お父さんの言うことはすべて正しいと思います。また○○さんが自分を過酷な状況に置いて、失敗しながら自分の夢をかなえたという話で、私は自分がそんな状況でも屈せず夢をかなえられるかと聞かされたらかなえられると思います。でも○○さんのお話を聞いたら、失敗しても大丈夫で成功のもとと思おうという気持ちが湧いてきました。失敗は成功のもとというアリスの教えをこのからの基礎とし、自分の「やりたいこと」をずっと続けられるような大人になりたいです。私は1年前の架け橋講座の時よりも今回の講座で自分の夢のかなえ方も、職業についてのイメージをもっとふくらませることができたと思います。私はこのからのプランを立てて、何を私はしたいかを考え実行していきたいです。

平成25年度「コナチュウ 未来への架け橋講座」（第6回）
 ~身近なプロフェッショナル(仕事人)から夢を学ぶ~
 職業: コンピュータ 関係
 講師: ○○ さん(サンコンピュータ)
 日時: H26.2.25(火)

= 感想 = 2年3組 氏名

「45年間は働かなければならぬのに、つらい仕事を選んだら、人生は全然楽しくない。最後に自分の人生が楽しくないと思えるような仕事を選んだほうが絶対いい」と○○さんがおっしゃっていたのを聞いて、「お金を稼ぐために働く人生が楽しくないことに気が付きました。ほかにも、「社員1人1人を大切にしてくれる会社に入ればいいけれど、私たちの人生を楽しくする方法を教えるところがありました。今は仕事を辞め、学歴はあまり関係がなくて、「コミュニケーション能力」や「素直さ、笑顔、元気」が大切なのは学校では教わっていません。○○さんが大企業に入ればいいわけじゃない。自分と必要とされる会社と会社に入ると、楽しい人生を送れると思います。」

3 成果と課題

- ①生徒の希望に合致する講師を条件の中で探すのが難しい状況です。
- ②この後継続していくには新しい人材資源を積極的に開拓していく必要があります。

4 この授業に協力して頂いた「我が社は学校教育サポーター」事業所について

企業・団体名	当社ができること
株式会社 サン・コンピュータ	<ul style="list-style-type: none"> ・職場見学では、実際の開発現場を見てもらいソフトウェア開発、そして仕事に就くことの意味についてお話しします。 ・学校への講師派遣では、ソフトウェア業界の仕事内容についての話から、社会に出ることの意味、社会人として必要なことなどについてお話しします。 ・インターンシップでは、実際に簡単なプログラムを作らせ、開発について体験ができると考えていますので、ご相談ください。

⑩【中学校／総合／出前授業・職場体験学習】

職場発見活動～出前授業・職場体験学習を通して～

【校名】青森市立西中学校
【学年】2年生161名

【教科等】総合的な学習の時間

1 このような活動です

(1) 出前授業

青森市内で働く方々の講話を通して、職業を選択する際に持つべき視点について考えを深めることを目的に、4名の講師による出前授業（講話）を行いました。職業を選んだ理由や、働く喜び、生きがいや学んだことを話していただき、生徒自身が働くことの意義を考えたり、職業に対する理解を深めたりしました。

(2) 職場体験（グローバルタイム）

働くことの苦労や喜び、体験を通して知ること、望ましい職業観と正しい勤労観を培い、自分の将来の職業について考えることを目的に、37事業所にご協力いただき、2日間の日程で生徒が職場を訪問し、実際に仕事を体験しました。

2 出前授業について

(1) 事前指導

- ①「我が社は学校教育サポーター」企業リストをもとに出前授業を行っていただける企業に、教育支援活動推進員の方を通して打診していただきました。
- ②企業が決定したら、生徒には事前に質問事項等を考えさせ、ただ聞くのではなく、目的をもって出前授業に臨む意識づくりを行いました。

(2) 当日

当日は4名の講師の方（自衛隊職員、ATVアナウンサー、一級建築士、御菓子のみやきん）に来ていただき、それぞれ講演していただきました。

【日 程】

13：25～14：15 出前授業1
講話①奉仕的な仕事（講師：自衛隊職員）
講話②人を楽しませる仕事（講師：アナウンサー）
14：15～14：25 トイレ休憩
14：25～15：15 出前授業2
講話③営業・販売・サービスの仕事（講師：建築士）
講話④料理・パティシエの仕事（講師：菓子店）



(3) 事後指導

事後の学習では、礼状を書かせたり、学んだことをレポートを書かせたりすることで、講演で学んだことを整理させ、職業に対する理解を深める場を設定しました。

3 職場体験について

(1) 事前指導

- ①「我が社は学校教育サポーター」企業リストをもとに、本校2学年の総合チームが各企業に協力を打診しました。また、直接打診できない企業には、教育支援活動推進員の方に仲介していただきました。

- ②生徒には職業調べや質問決め、計画表作成や挨拶・マナー指導等の事前指導を行いました。
- ③教員は、企業との打ち合わせを実施しました（メールやFAXが中心でした）。

(2) 当日

生徒作成の計画表をもとに職場へ各自で移動し、9:00~15:00の間で職場体験活動を行いました。

(3) 事後指導

職場体験学習においては、学んだことをレポートにし、さらに画用紙一枚に体験したことや学んだこと等をまとめ、他の生徒にも情報提供できるように教室前に掲示しました。そして、改めて働くことについて考える場を設定し、職業や勤労についての理解を深める場としました。

【指導計画のイメージ】

	日 時	内 容
	1 学期 夏休み	職業体験の概要説明と職場希望調査 職業体験先への打診
2 学期	8 月第 5 週	2 学期総合オリエンテーション
	9 月第 1 週 第 2 週	ライフプラン授業 (レポート作成)
	9 月第 3 週 第 4 週	職場体験ガイダンス 訪問先伝達、個人紹介表作成 職場訪問依頼の電話のかけ方練習 職場との打ち合わせ（電話） 計画書作成 挨拶＆マナー指導 職場体験最終事前指導
	1 0 月第 2 週 第 3 週	
	第 4 週	
	第 5 週	
	1 1 月第 2 週	
1 1 月第 2 週	職場体験（2 日間）	
1 1 月第 3 週 第 4 週～ 1 2 月第 2 週 第 3 週	事後指導（自己評価、感想文、礼状作成） 事後指導（レポート作成＆発表会準備） 学級発表会 学年発表会	

5 成果と課題

- ①出前授業では、教育支援プラットフォームを利用したことで、様々な職種の方のお話を聞くことができました。
- ②職場体験学習においても、様々な職業を体験することができ、生徒にとってとても良い経験となりました。
- ③職場体験学習では、「学校教育サポーター」一覧表から希望職種をピックアップすることができたため、職員が一から職場を探す必要がなく、負担軽減につながりました。そのため、職場を探す時間を削減できた分、事前指導に時間を費やすことができました。

6 この授業に協力して頂いた「我が社は学校教育サポーター」事業所について

多くの事業所に協力していただいているため、事業所名のみ記載します

株式会社青森テレビ	カブセンター大野店	青空会
イマジン株式会社	カブセンター西青森店	鉄工房アール
株式会社御菓子のみやきん	メガ・ベニーマート	あけぼの薬局
ヒロフーズ	青森県立美術館	ジークフリート戸山店
和幸保育園	cut in RYU	ジークフリート松原店
ときわ保育園	グランドホテル	ジークフリート金沢店
青森よつば保育園	ホテルJALシティ青森	ガーラモールマエダ
青森トヨタ自動車	ヤマイトと福	サンデー青森西店
トヨペット青森南	スポーツ青い森グループ	ワ・ラッセ
トヨペット青森西	ニュークリーン	青森愛犬美容専門学校
スポルタアオモリ	三内丸山応援隊	MEGA石江店
青森県民生活協同組合あやめ館	フォトシバタ	

⑪【高等学校／総合／インターンシップ】

就業体験学習

【校名】青森南高等学校

【教科等】総合的な学習の時間

【学年】2年生18名（就職希望者等）

1 このような活動です

本校の教育目標の柱の1つである「将来設計プログラム」では、生徒が進路目標をしっかりと持ち、その実現に向かって学習を積み重ね、有意義な学校生活を送ることができるように支援するプログラムを実施しています。そのプログラムの一環として、2年次の公務員・就職、理美容の専門学校進学希望の生徒を対象として、夏季休業中に職業観の涵養を目的に3日間の日程で実施しました。

職業体験だけではなく、職業人とともに働き会話する中で、働くことの意義、人とのつながり、高校生として就職するために必要な準備などを学びとることをこのインターンシップの大きな柱として実施しました。

2 授業の進め方

(1) 事前

- ①「我が社は学校教育サポーター」企業リストをもとに9社のインターンシップ先を選びました。
- ②進路指導部員がインターンシップ先を趣旨説明や事前打合せを兼ねて訪問し、連絡体制及び連携を密にしました。
- ③インターンシップ実施の2週間～1週間前に、生徒がインターンシップ先に電話でアポを取り、生徒自らが事前打合せを行い、その結果を進路指導部員に報告させました。
- ④インターンシップに係る生徒の傷害保険や賠償保険に加入しました。その費用については生徒・保護者の自己負担としました。
- ⑤総合的な学習の時間を利用して、インターンシップの意義を明確にするために、希望する職種に勤めたい志望動機などをシグソー学習的な要素を持たせた発表を行い、他者の意見を聞き、自己の志望動機等を見直す機会を設けました。

【平成25年度のスケジュール】

6月中旬	依頼企業のリストアップ
6月第3週	内諾依頼のアポイントメント電話
6月第4週	内諾依頼企業への訪問
7月第2週	依頼文書起案および郵送 生徒事前打合せ日回答×切
7月中旬	生徒事前打合せ
7月第4週	保険加入起案および発送
7月29日～8月4日 就業体験実施	
8月第2週	日誌および礼状の回収 礼状起案および郵送
8月第4週	就業体験のまとめ作成

(2) 当日

- ①小・中学校を通して職場訪問の経験はありましたが、3日間日程のインターンシップは初めての経験でした。本校の希望により、職業体験に加えて、その職場で働く人との懇談会を日程に適宜入れてもらいました。
- ②毎日日誌を作成し、インターンシップ担当者のコメントをもらいました。



- ③本校教員による巡回を行いました。本校として、初めてのインターンシップとなるため、複数の教員による巡回をし、インターンシップの意義を学ぶという意味で教員の研修も兼ねて実施しました。



(3) 事後

- ①インターンシップを通じて学んだことを日誌にまとめ、就職するために今高校生として必要なこと、仕事をする意義を考えるように指導しました。
- ②生徒にはインターンシップ先への礼状を書かせ、本校より発送しました。
- ③インターンシップ先より実施の評価について聞く機会を設けました。

3 成果と課題

- ①教育支援プラットフォームを活用したことで、インターンシップ先との連絡、意思疎通がスムーズに行えました。また、インターンシップ先の決定や事前の打合せのための労力が軽減できました。
- ②インターンシップ先より進学校の生徒の受入れは初めてであるとの声が多数でしたが、志望動機や働くことの意義が明確であり、今後も受入れたいとの声を多くいただきました。
- ③インターンシップを実施した生徒より、「明確な目標を持てた」や「今高校生としてすべきことがわかった」など肯定的な感想が多くみられました。また、長期休業中にインターンシップをやってみたいなどの相談もあり、実施した成果は十分にあったと感じました。
- ④継続的に実施するために教職員間での意思疎通と業務内容の引継ぎが課題であると感じました。担当者が異動しても、取組が継続されるようなシステムづくりが必要です。

4 この授業に協力して頂いた「我が社は学校教育サポーター」事業所につて

企業・団体名	当社ができること
青い森鉄道株式会社	・当社沿線の学校を中心に、職場体験やインターンシップを受け入れ、駅業務や設備業務の実習を行っています。
青森県立美術館	・職場見学や職場体験では、公共施設、観光施設としての役割や仕事、美術館の仕組みについて体験を通じて学ぶことができます。
イトーヨーカ堂青森店	・職場体験では、お店の仕組みや商品陳列、補充を体験できます。
成田本店	・職場体験では、流通の仕組み、商品の陳列、発注、返品業務等を体験できます。(高校生以上)
ラ・プラス青い森	・職場体験では、お客様に快適に過ごしてもらうための客室整備を体験してもらいます。数十名～数百名分の食器の洗浄を体験してもらいます。
ジュネス美容室 アウガ店	・職場見学、職場体験にて、美容業の楽しさ、おもしろさを体験していただきます。 ・カット、パーマ、カラー、ストレートパーマなどの仕組みや流れを学ぶことができます。
ジュネス美容室 サンロード青森店	
シダックス観光通り店	・職場体験では、基本的な接客や飲食の提供及び店内の清掃などを体験していただきます。
Cut in RYU	・職場見学では、小学生に人形を使ったカット体験をしたことがあります。 ・職場体験も受入可能です。

インターンシップ受入れて協力して下さる企業・事業所は多数ありますので「我が社は学校教育サポーター」リストをご覧の上お問い合わせください。

「我が社は学校教育サポーター」で検索

⑫【高等学校／課外活動／インターンシップ】

就業体験学習

【校名】青森西高等学校

【教科等】課外活動

【学年】2年生35名（主に就職希望の生徒）

1 このような活動です

(1) ねらい

- ①望ましい職業意識を身につけ、進路意識の高揚を図る。
- ②勤労体験により見聞を広め、社会常識を身につける。
- ③職場における心構えやコミュニケーション能力を身につけ、自覚と協調性を養う。

(2) 活動内容

事業所から指定のあった夏季休業中の2～3日間に、職場における心構えやマナーおよび事業所組織・業務等について学習し、各事業所の計画に合わせて見学や作業等の実習を行います。

2 授業の進め方

(1) 事前

- ①生徒の希望をもとに、希望する職種に見合う事業所を「我が社は学校教育サポーター」企業リストも参考にして選び、生徒の受入れを依頼しました。
- ②事業所によっては総合社会教育センターを通して依頼を希望するところもあったので、教育支援活動推進員の方を仲介して行いました。
- ③インターンシップを行う前に、生徒は自ら事業所へ電話をかけて担当の方と事前打ち合わせの日程を決め、その後事業所へ出向き、打ち合わせを行いました（打ち合わせ事項…出勤時刻、勤務時間、仕事内容、服装、持参するもの、事前準備等）。

(2) 当日

- ①生徒はその日の実習が終わると、「インターンシップ実習日誌」に実習内容や自己評価、感想などを記入し、また担当の方にも生徒の実習状況について所見を記入していただきました。
- ②インターンシップ期間中は職員が手分けして事業所を巡回しました。

平成25年度 インターンシップ事前打ち合わせ確認事項			
事前打ち合わせ日時		月 日 () 時 分～	
事業所名		電話番号	
所在地			
実習担当者	役職	氏名	
自宅から事業所までの交通手段と所要時間		〔電車・バス・自家用車・自転車・徒歩〕で 分	
事前打ち合わせ事項			
①	実習期間	月 日 () ～ 月 日 ()	
②	出勤時刻	遅くとも 時 分までに事業所に到着する	
③	勤務時間	時 分 ～ 時 分	
④	仕事内容		
⑤	昼食について	持参〔食べる場所 〕 ・ 食堂利用可	
⑥	服装について	制服 ・ ジャージ ・ その他 ()	
⑦	持参するもの	実習日誌、筆記用具、「自己紹介カード」	
⑧	事前準備		
⑨	その他注意すべきこと		
*上の表の内容を必ず確認するとともに、保護者にも伝える			

※実習日誌

実 習 日 誌		
1日目 月 日()		
時間	仕 事 内 容	感 想
8:00		
9:00		
10:00		
11:00		
12:00		
13:00		
14:00		
15:00		
16:00		
17:00		

一日を振り返って自分を評価してみよう

[A=とてもよかった B=だいたいよかった C=あまりよくなかった D=かなりよくなかった]

(1) 職場での言葉づかいや態度について	A	B	C	D
(2) 仕事に対する意欲や積極さについて	A	B	C	D
(3) 職場の人とのコミュニケーションについて	A	B	C	D
(4) 仕事や担当者から学んだことについて	A	B	C	D

* 今日、学んだことは何ですか。

* 明日、気をつけたいことは何ですか。

本日の実習について、生徒に伝えたいことがあればお書き下さい	担当者印

実習の振り返り

I. 職場体験を振り返って、今回の実習について自己評価してみよう
[A=とてもよかった B=だいたいよかった C=あまりよくなかった D=かなりよくなかった]

(1) 職場での言葉づかいや態度について	A	B	C	D
(2) 仕事に対する意欲や積極さについて	A	B	C	D
(3) 職場の人とのコミュニケーションについて	A	B	C	D
(4) 仕事や担当者から学んだことについて	A	B	C	D

II. 職場環境について

(1) 実習場所はどこのような場所、どんな感じですか。[実習した場所やその環境等]

(2) 職場はどのような雰囲気でしたか。[職場の人たちのようす等]

(3) 職場の人たちはあなたにどのように接してくれましたか。

III. インターンシップを通して

(1) あなたが仕事をする上で、気をつけたことは何ですか。

(2) この仕事をしてみてもよかったと思うことは何ですか。

(3) この仕事をしてみてもつづかったことは何ですか。

(4) この仕事は自分が考えていたものと比べてどうでしたか。

(5) 職場の人やお客さん(お年寄り、子供たち)からかけられた言葉で、印象に残っているものは何ですか。

(6) 働くことの大切さや意義がわかりましたか。
ア、わかった イ、少しわかった ウ、あまりわからない

(7) この実習は今後の進路選択に役立つと思いますか。
ア、思う イ、少し思う ウ、思わない

(8) インターンシップの期間はとうでしたか。[日間]
ア、長かった イ、ちょうどよかった ウ、短かった

(9) インターンシップを経験してよかったですか。
ア、とてもよかった イ、まあまあよかった ウ、よくなかった

このページは実習
最終日に家で記入

(3) 事後

- ① インターンシップ終了後、自己評価や体験したことなどを通して実習をふりかえるよう指導しました。
- ② 実習終了後、「インターンシップ実習日誌」を回収し、生徒の実習状況を確認しました。
- ③ 各事業所にアンケートを送付し、生徒の実習態度や改善点等について意見を伺いました。

3 成果と課題

- ① プラットフォームを活用したことで、実習先の候補が増えました。
- ② 学校が実習候補先と直接連絡を取りたい場合もあるので、そのようなことも可能であればよいと思います。

⑬【特別支援学校／総合／出前授業・職場見学・職場体験】

「働く」を学ぼう

【校名】 黒石養護学校 【学年】 高等部 進路学習グループ (1年1名、2年3名、3年3名)	【教科等】 総合的な学習の時間 【単元等】 様々な職業があることを知り、働くことや進路について気付いたり考えたりする。
--	--

1 このような活動です

- ①地域で働いている人から仕事のことや働くときに大切なことについてお話ししていただくことで、生徒がコミュニケーションやマナーの大切さに気付き、将来の生活に役立てようとするきっかけをつくります。
- ②職場見学や就労体験を通して、生徒が働くために必要なことを知り、自分の進路に対する意識を高めます。

2 授業の進め方

(1) 事前

- ①「我が社は学校教育サポーター」企業リストをもとに、出前授業（マナー講座）や職場見学、職場体験を受け入れてくれる企業を選定しました（(有)黒石観光ホテル 花禅の庄）。
- ②「出前授業・職場体験活動ハンドブック（P53 参照）」を参考に事前打ち合わせを行いました。
- ③打ち合わせの際、生徒の様子を具体的に伝え、分かりやすい言葉で話すことや、出前授業では体験を多く取り入れること、また、気付いたことがあったらその都度言葉をかけて生徒に積極的にかかわることなどを依頼しました。

※各取組の流れ

マナー講座 (90分)	職場見学	就業体験
①あいさつ	10:30 学校発	9:30～ 事前の確認、準備
②講師の紹介	10:45 花禅の庄 到着	9:40 学校発
③講話	10:50 ~ 職場見学	9:50 花禅の庄 到着
・おもてなしの心	11:30	10:00 ~ 就業体験学習
・学校と社会の違い	11:40 花禅の庄 出発	11:30
・仕事の厳しさ	11:55 学校着	Aグループ：館内清掃中心
④演習、体験	11:55 ~ 事後のまとめ	Bグループ：部屋の清掃、 物品のセッティング中心
・あいさつ、返事	12:10	11:40 花禅の庄 出発
・行儀作法		11:50 学校着
⑤感想発表		11:50 ~ 事後のまとめ
⑥まとめと講評		12:10
⑦お礼のことば		
⑧あいさつ		

(2) 当日

①出前授業

「旅館の仕事」と題してマナー講座を実施しました。旅館の仕事やおもてなしの心、職場と学校の違いなどについて話をしていただいた後、挨拶や礼の仕方、名刺の渡し方などの演習を行いました。声の大きさや行儀を講師に褒められて喜ぶ生徒もいました。

② 職場見学

旅館の客室や大浴場、厨房や事務室を案内していただきました。職場体験に向けて、事前に仕事内容や旅館の雰囲気を知ることができました。

③ 職場体験

客室や宴会場のセッティングや廊下の掃除を行いました。事前に見学していたため、生徒はすぐに雰囲気に慣れ、集中して仕事に取り組みました。体験を通して、早く確実に仕事をするためのポイントに気付くことができました。

※①②③に共通して

- 旅館の方々に生徒の名前を呼んでもらえるように名札を付けました。
- 写真やビデオで生徒の活動の様子を記録しました。
- 学習内容や分かったことをワークシート（右図）にまとめられるようにしました。

(3) 事後

- ① 気付いたことや感想を互いに確認するため、一人一人発表する機会をつくりました。
- ② ワークシートを基に学習したことを全員で模造紙にまとめ、廊下に掲示しました。
- ③ 出前授業や体験を通して学んだことを発表する場を設けました。

3 成果と課題

- ① 出前授業や職場見学及び体験を通して、生徒は人と接するときには挨拶や笑顔が大切であること、働くことの厳しさや喜びを実感することができました。
- ② 旅館の方と接する機会が3回あり、回を重ねるにつれて旅館の方々が生徒に積極的に話しかけてくれるようになりました。助言してもらったり誉められたりすることで、生徒は自信をもって活動できるようになってきました。
- ③ 外部の方と学習する機会を通して、生徒は専門的な知識や技術の他、人とのコミュニケーションの取り方やマナー等を学びました。経験の拡大にもつながるので、今後も教育支援プラットフォームを活用していきたいと思えます。

4 この授業に協力していただいた「我が社は学校教育サポーター」事業所について

企業・団体名	当社ができること
有限会社 黒石観光ホテル 花禅の庄	<ul style="list-style-type: none"> • 出前講座では、学校と社会の違い、おもてなしの心、仕事の厳しさなどを講話し、行儀作法を指導するなどを実施できます。 • 職場見学では、館内を案内し、仕事ぶりを見てもらいます。 • 職場体験では、あいさつや返事の仕方、清掃、配膳、部屋セットなどを体験してもらいます。

総合 ハローワーキング 氏名 _____

「地域ではたらく 体験③」

いままで学んだ
そうじや あいさつのしかたを
仕事に いかしてみよう!

1 はたらいた日

2 はたらいた場所

3 仕事の内容

4 職場の人に言われたこと

5 「今日の自分」について

項目	評価(できた◎ ままあり○ もう少し△)
① 元気のよい あいさつや返事ができた。	
② てきばき 行動した。	
③ ていねいに 仕事をした。	
④ 笑顔で 仕事をした。	
⑤ おしえてもらったことをいかして掃除した。	

6 わかったこと、感想

◆先生から

《参考》特別支援学校の受入れ実績がある事業所

地区名	事業所名
【東青】	株式会社中三、東洋光伸株式会社、青森県消費者協会青森県消費生活センター、株式会社エイエスワイ、青森県すこやか福祉事業団ライフサポートあおば、青森乗馬倶楽部、有限会社ショパン、青森県立美術館、企業組合あおもり万華堂、有限会社渋谷種苗店、青森県民生活協同組合あやめ館
【西北】	グループホームアップル鶴の里いかり商事株式会社
【中南】	特別養護老人ホーム松山荘
【上北】	三ツ和食品株式会社、障がい者支援施設けやき寮、社会福祉法人静光会浜三沢保育所、社会福祉法人八甲田会特別養護老人ホーム八甲荘、株式会社七戸物産協会「道の駅」しちのへ
【三八】	株式会社ダイヤレックス、株式会社八戸グランドホテル、八戸モータースクール

上記以外の「我が社は学校教育サポーター」の企業・事業所についての受入れ実績や受入れの可否等については、青森県教育庁生涯学習課までお問い合わせください。

電話：017-734-9888

第2章

「我が社は学校教育サポーター」 登録企業・事業所の提案プログラム



①【理科、社会、家庭／出前授業】

対応可能地域
県内全域

NPO法人小川原湖しらうお研究会

小川原湖産白魚の生体観察、 及び受精卵の観察

校種 小学校・中学校・高等学校
学年 全学年
教科等 理科、社会、家庭
単元例 生命の連続性（理科）

1 会社概要

郷土料理を通じて地元特産品の開発及び商品を製造、販売しています。

小川原湖及び接続河川におけるシラウオを中心とした生物の生息、環境保全に関する事業を行い、地域の生活環境の改善に努めることで、人と自然の調和のとれた環境に寄与することを目的として平成25年にNPOを設立しました。

2 プログラムのねらい・特徴

日本一の漁獲量を誇る小川原湖のシラウオについて、日本初の活魚に成功しました。全国的に水族館でも殆ど展示していないこのシラウオを県内の学生にぜひ見てもらい、活魚でしか出来ない生体観察及びシラウオの受精卵を孵化まで観察するプログラムです。

あわせて、これも日本一のワカサギとその受精卵観察、シラウオとの関わりについても学習します。他に、東北町の特産品紫黒米についての学習プログラムも提供できます。

3 プログラムの内容（60分）

展開1：シラウオ紹介（10分）

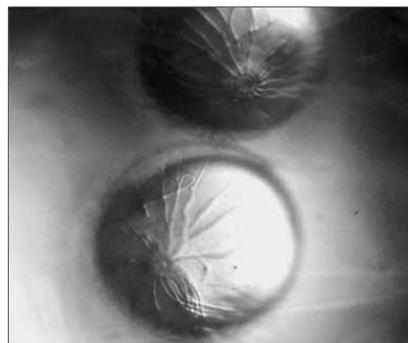
- ・シラウオとシラウオの違い（DVD視聴）
- ・シラウオの歴史について

展開2：顕微鏡観察（40分）

- ・シラウオの構造、受精卵を観察する
- ・新聞記事をもとにシラウオの生態や、自然環境について考える
- ・シラウオを実際に食べてみる

展開3：意見交換（10分）

- ・シラウオの生態、環境保全の大切さについて話し合っ振り返る
- ※受精卵については継続的に観察、孵化までの観察を行ってください。



シラウオの卵（顕微鏡写真）

4 実施にあたって学校に留意してほしい点

- ・理科の実験用教室および顕微鏡観察の準備をお願いします。
- ・DVD再生可能なプレーヤーとスクリーンを用意してください。
- ・実験可能な時期：10月より6月頃
- ・この他紫黒米については年中可能です。

5 メッセージ

【NPO担当者より】水族館でも展示が稀なシラウオの生体観察、シラウオに関する歴史や豆知識、シラウオを使った料理の紹介を通して、子どもたちの好奇心を高めたいと思います。また、生徒及び先生のシラウオについての理解が深まります。

6 問合せ先

NPO法人小川原湖しらうお研究会（居酒屋れすとらんえび蔵）

住所：〒039-2405 上北郡東北町上北南4丁目32-542

電話：0176-56-5098（FAX兼用） 電子メール：ebizou@lilac.plala.or.jp

② 【理科・総合／出前授業】

対応可能地域
上北／三八

NPO法人青森バイオマスエネルギー推進協議会

青森の木で作る 循環型エネルギーの授業

校種	小学校・中学校・高等学校
学年	全学年
教科等	理科、総合的学習の時間、社会
単元例	生命の連続性（理科）

1 会社概要

当法人では、一般向けキコリ講座による山林整備活動および木質ペレット燃料普及活動を通じて、地域の資源とエネルギーが持続可能な形で循環することを目指しています。

2 プログラムのねらい・特徴

- ・間伐材の現物に触れながら、山林整備の必要性と方法を学ぶ。
- ・木質ペレット燃料の特徴と可能性を学ぶ。
- ・当NPO法人が運営している日本初の自立型工場の特徴と意義を知ってもらう。
- ・エネルギーに関するクイズを通して、持続可能な循環型社会の実現に向けて、子どもたちが自らの意志で考え行動できる契機とする。
- ・当NPOの活動が、子どもたちの未来につながることを知ってもらう。



3 プログラムの内容（30～50分）

展開1：当NPO法人の活動説明

図や動画を見て青森県の山林とエネルギーの現状を学ぶ。

展開2：木質ペレットに触れる

間伐材や木質ペレットの現物に触れながら、山林の様子やエネルギーの活用についてイメージしてみる。

展開3：循環型社会をつくるために

自分たちの生活の中で使われるエネルギーを振り返り、循環型社会に向けて何ができるかを話し合う。



4 実施にあたって学校に留意してほしい点、メッセージ

PC接続が可能なプロジェクターとスクリーンを用意願います。

講師は当協議会代表が務めますが、聴覚障害を持っており、初対面の人のお話が聞き取れないことが多いです。助手の同伴を認めていただくと助かります。



5 問合せ先

NPO法人青森バイオマスエネルギー推進協議会（株式会社高橋）
電話：0176-53-4175 FAX：0176-53-3432
電子メール：htakahashi@kabutaka.jp

③ 【総合、社会／職業体験】

対応可能地域
東青地区

青森ガス株式会社

インターンシップ (ガス会社の仕事を学ぶ)

校種 小学校・中学校・高等学校
学年 小5～高2
教科等 理科、総合的な学習の時間、社会

1 会社概要

弊社は都市ガスの製造、販売、供給及びガス設備の工事、ガス器具の販売を行っている公益的な会社です。

2 プログラムのねらい・特徴

- ・天然ガスの採取からお客さまへ供給されるまでの流れを理解する。
- ・ガス導管、設備の維持管理方法を理解する。
- ・都市ガス利用の状況、ガス器具の構造を理解する。



3 プログラムの内容（3日間のインターンシップの場合）

	1日目	2日目	3日目
午前	オリエンテーション LNG受入作業 サテライト工場見学	ガス導管工事の見学 ガス配管作業	ガス器具の分解・組立 調理実習
午後	簡易ガス工場見学 (戸山団地)	大口需要家のガス利用状況	倉庫整理 構内清掃 まとめの作成

※インターンシップの様子



4 実施にあたって学校に留意してほしい点

- ・年間2校までとします。
- ・現場移動、講師の対応等を考慮しますと2～3名がちょうどよい人数と思われます。

5 メッセージ

【参加生徒より】 普段触ることがない工具（パイプレンチ）での配管実習や、ガス器具の分解、組立を体験することができ、充実したインターンシップでした。また働くことの大変さを実感しました。

【企業担当より】 インターンシップの他に、学校への出前授業や職場参観日も実施しております。詳しくはお問い合わせください。

6 問合せ先

青森ガス株式会社総務部総務課
住所：〒030-0901 青森市港町三丁目6-33
電話：017-741-7421 FAX：017-742-4765
電子メール：aogas010@seagreen.ocn.ne.jp

④ 【総合、社会／出前授業】

対応可能地域
東青 / 西北 / 中南

ローソン弘前茂森町・樹木・湯口・駅前三丁目店

課外授業「考える・学ぶ」 をテーマに

校種 全校種
学年 全学年
教科等 総合的な学習の時間、社会

1 会社概要

株式会社ローソンを本部としたフランチャイズオーナーです。
主に食品・日用品・雑貨・飲料を中心とした小売業を行っているほか、除雪業・排雪業・芸能事務所仲介・IT企業仲介も行っております。

2 プログラムのねらい・特徴

考える力と学ぶ大切さ人間の可能性と感謝の心を養い、人生の糧となる自己啓発・努力を常に行うことを目的とし、仕事からプライベートまで視野を広げていただくことが狙いです。
何ごとも興味を持ち自分から行動する・楽しんで行うことで人生を歩んでいただきたい願いと思いが詰まった講演です。

3 プログラムの内容

・挨拶について・・・笑顔の大切さ	10分
・接客とは・・・目的・意味	30分
・心の味と舌の味ってどんなあじ？DVD有	15分
・コンビニエンス・ストアについて	10分
・オーナーと店長？どっちがえらい？	5分
・考える??・・・悩むじゃない！	20分
・学ぶ??・・・覚えるじゃない！	20分
・理念とは・・・存在意義！	10分
・人間関係に必要な事とは？	20分

※学年・年齢・授業時間に応じて変更して行っております。



4 実施にあたって学校に留意してほしい点

- ・DVDを使用できる環境があれば助かります。
- ・歩き回りながらの講演が売りです。通路の確保が出来る広めの場所をお願いします。
- ・先生方にも一緒に聞いて頂きたいので、遠慮なくご参加ください。
- ・声を大きくしているためマイクは必要ないと思います。

5 メッセージ

【企業担当者より】全員参加型の講演となっているため、皆さんと目が合うことが多いです。一方的な講演ではなく、子どもたちからの発言も多く意見交換もしやすいので、時間がたつのがいつも早いと言われます。笑顔も多くみられ興味を持って聞いていただいている様子です。話し方は津軽弁も混ざっているため、聞き辛く感じる部分もあるかもしれません。ご了承願います。

講演をするたびに新聞社さんが記事にしてくださいますので、子どもたちの新聞への興味を持つきっかけにもなると思います。

6 問合せ先

ローソン弘前茂森町店
住所：〒036-8217 弘前市大字茂森町 35-5
電話：0172-33-2061

⑤ 【総合、社会、家庭／出前授業】

対応可能地域
県内全域
(ただし要相談)

ソニー生命保険株式会社

ライフプランニング授業

校種 中学校・高等学校
学年 全学年
教科等 総合的な学習の時間、社会、家庭
単元例 生涯の生活設計（家庭）

1 会社概要

ソニーフィナンシャルグループの生命保険会社です。お客さま一人ひとりのライフプランに基づく合理的な保障を、ライフプランナーがオーダーメイドで提供しています。

2 プログラムのねらい・特徴

- ・ライフプランニングを体験することで、夢や目標を持つことの大切さ・楽しさを学ぶ。
- ・夢や目標を実現するために計画を立てる大切さを学ぶ。
- ・自分ができることを努力し、工夫することの大切さを学ぶ。
- ・家族や周りの人々への感謝を実感してもらう。

3 プログラムの内容（約100分）

1 時 限 目	<p>仮想家族を想定したイベントプランニング（約50分）</p> <p>生徒たちは大人になったつもりで、ある仮想の家族をイメージし、その家族のライフプランについて、意見交換しあいます。テーマは、収入や税金・社会保険、子どもの進学プラン、住宅プラン、毎月の支出（生活費や小遣い）、自動車、旅行や家族の夢の計画など。</p> <p>生徒の意見を尊重しながら、全員でライフプランを決定します。その内容を弊社独自のライフプランニング・シミュレーションソフトに入力し、年度ごとの支出の変化を具体的にお見せします。</p>
2 時 限 目	<p>ライフプランニングの検証、改善策の検討（約50分）</p> <p>1時限目に立てたイベントプランのシミュレーション結果（年度別の収支グラフ、金融資産残高）を確認します。収支バランスで改善すべき点について、生徒で話し合っただけ、実際にシミュレーションし直して、その改善案が効果的かどうかの検証も行います。ライフプランナーがプロの見地から、改善策の考え方、ポイントをわかりやすく解説します。</p>



4 実施にあたって学校に留意してほしい点

- ・プロジェクター、スクリーンが必要となります。
- ・生徒さんの事前学習の実施をお願いします。
- ・ライフプランナーが講師を務めるため、日程や実施規模などご要望にお応えできないことがあります。予めご了承ください。

5 メッセージ

【先生方より】ライフプランニング授業を通して、人生が選択の繰り返しであることを実感できるようで、授業実施後、それまでの進路を変更したいという生徒が数名出てきました。進路選択のきっかけになった「ライフプランニング授業」は生徒の心に深く響く内容であると感じています。

将来のお金について考える教育は、生徒たちにとっては「今の生活と両親への感謝」にもつながったように感じました。

【企業担当者より】先生方にライフプランニングへの理解を深めていただく場も含め、授業内容を協働作業として作り込みたいと考えております。

6 問合せ先

ソニー生命保険株式会社 盛岡支社 青森営業所
住所：〒030-0802 青森市本町 1-3-9 ニッセイ青森本町ビル 10F
電話：017-721-1970 FAX:017-721-1971
URL <http://www.sonylife.co.jp/volunteer/lp/index.html>

⑥ 【総合、社会、商業／出前授業】

対応可能地域
中南

東奥信用金庫

マネースクール

校種 小学校・中学校・高等学校
学年 小学校高学年～高校3年生
教科等 総合的な学習の時間、社会、商業
単元例 金融の仕組みと働き（政治・経済）

1 会社概要

東奥信用金庫は、地元重視・地域密着型の金融機関です。

本店は弘前市にあり、弘前市・黒石市・平川市・五所川原市その他周辺市町村で21か店展開しています。職員数は258人（正職員・パート職員・派遣社員含む）です。

2 プログラムのねらい・特徴

将来を担う子どもたちに金融機関の果たす役割と、お金の大切さを理解してもらうことを目的として実施。

3 プログラムの内容（50分）

展開1 東奥信用金庫の紹介

展開2 マネークイズ

お札のことや高校卒業までにかかる金額についてクイズ形式で学ぶ。

展開3 信用金庫の仕事

仕事内容について銀行と比較する

展開4 利息の話

金利によって返済額がどのように変わるか学ぶ

展開5 まとめ

お金の大切さ、社会人に求められることを学ぶ

2. マネークイズ①

日本では、今何種類のお金が発行されていますか？（以前発行されたものを含まない）

(1) 9種類
(2) 10種類
(3) 11種類



マネークイズ④

生まれてから高校卒業するまで（18年間）にかかるお金は、およそいくら？

(1) 300万円
(2) 500万円
(3) 1,000万円



3. 生まれてから18年

項目	金額	種類	備考
現金	1,000円	現金	100円硬貨
預金	1,000円	定期	100円硬貨
借入金	1,000円	借入金	100円硬貨
総額	3,000円		

3. 信用金庫の仕事

- ◆ お金を預かる・・・預金業務
- ◆ お金を貸す・・・融資業務
- ◆ 総務の窓口など・・・総務業務
- ◆ 相談などのサービス業務

銀行とほとんど同じ仕事をしています

100万円を5年で返済するとき

返済方法	元金返済	5年合計	備考
金利3%の返済	17,968円	1,078,280円	銀行・信用金庫
金利5%の返済	22,270円	1,216,550円	クレジット会社
金利10%の返済	25,387円	1,529,560円	消費者金融

社会人として求められるもの

- ◆ あいさつ・マナー
- ◆ コミュニケーション
- ◆ マニュアル以外の対応
- ◆ 勉強は辛いからが本番

4 実施にあたって学校に留意してほしい点

可能であればプロジェクターとスクリーンをお願いいたします。

5 メッセージ

【生徒より】私が生まれてから18年間にかかる金額の大きさを知って驚きました。それに私が大きくなるのに親がこんなに頑張ってくれていたんだなと思いました。

6 問合せ先

東奥信用金庫人事部
住所：〒036-8182 弘前市土手町 81
電話：0172-34-8404



⑦【技術・家庭、情報／出前授業】

対応可能地域
県内全域

株式会社ビジネスサービス

インターネット及びセキュリティに関する出前授業

校種	中学校・高等学校
学年	全学年
教科等	技術・家庭、情報
単元例	情報社会の課題と情報モラル（社会と情報）

1 会社概要

お客様の業務上の問題点の解決や要求の実現にICTでお応えし、きめの細かなサービスとサポートをご提供しています。

携帯電話・IT機器販売、ソフトウェア開発、Web構築やプロバイダ事業「JOMONインターネット」やPCショップ「Power Depot」運営も行っています。

2 プログラムのねらい・特徴

IT業界の状況や仕事の内容の理解を深めてもらいます。

また、コンピュータやインターネットの他に携帯電話やスマートフォンなどのモバイル機器の使用に際する注意点やセキュリティに対する知識の習得、啓蒙がねらいです。

3 プログラムの内容（各60～100分程度）

プログラム例①

インターネットとセキュリティに関する講話

インターネットを利用する際のルールやマナー、サイバー犯罪の被害に遭わないための心得、セキュリティの大切さについて学びます。

プログラム例②

システム開発（プログラマ、SEの仕事とは等）に関する講話

IT業界における様々な仕事の内容や、ITを利用した新しいビジネス等について学びます。

プログラム例③

スマートフォン、タブレットPCの利用や、セキュリティについての講話。

最近、急速に普及したモバイル機器使用の際の注意点やセキュリティについて学びます。



出前授業の様子



4 実施にあたって学校に留意してほしい点

まずは、青森県教育委員会を通しての依頼をお願いいたします。

スクリーン及びプロジェクターの準備をお願いいたします（プロジェクターは持込可能）。

5 メッセージ

【企業担当より】ICTを活用した夢への実現に向けた講話が、より生徒の皆さんには興味深いものとなっていると感じております。近い将来実現するであろう新しい機器や、ICTの将来展望など最新の情報をお届けしたいと思っております。

6 問合せ先

青森県教育庁生涯学習課

電話：017-734-9888

（企業担当：株式会社ビジネスサービスソリューション営業推進部）

⑧ 【総合、技術・家庭、情報／出前授業】

対応可能地域
県内全域

KDDI株式会社

KDDIケータイ教室

校種	全校種
学年	主に小学校高学年以上
教科等	総合的な学習の時間、技術・家庭、情報、道徳
単元例	情報に関する技術（技術・家庭）

1 会社概要

KDDIは、固定通信（電話やインターネットなど）と移動体通信（auケータイなど）のサービス提供のほか国際映像配信なども行う総合通信会社です。

2 プログラムのねらい・特徴

子どもたちがケータイを利用する際に守ってほしいルールやマナー、覚えておいてほしいケータイやインターネットにかかわるトラブルや事件・事故の事例を紹介し、子どもたちが自らの判断でリスクを回避する能力を身に付けていただくための講座です。

3 プログラムの内容

小学生、中学生および保護者・教職員向けの4つの講座があります。KDDIケータイ教室認定講師が学校などにお伺いし、教材を使って講座を実施します。

A：小学生基礎コース（45分）

初めてケータイを使うときのルールやマナー

B：小学生応用コース（45分）

ケータイに慣れ始めたころに起きる危険なこと

C：中高生コース（50分）

実際に起こったトラブルや事件をもとに考える

D：保護者・教職員コース（60分）

知っておいていただきたい子どもたちのトラブル事例と対策



4 実施にあたって学校に留意してほしい点

- 開催までの流れは次のとおりです。

FAXお申込み ⇒ 開催日調整・決定 ⇒ 事前打合せ ⇒ 教材発送 ⇒ 教室開催

- 保護者の方も子どもたちと一緒に講座にご参加いただくことをお勧めします。
- 開催希望日の1ヶ月前までにお申込みください。
- 学年、クラスをまとめてのお申込みにご協力ください。

5 メッセージ

【企業担当より】ケータイの便利さの裏に隠れた危険性に子どもたちはあまりにも無防備です。実際に起こった事件は、決して他人事では無いことを理解してもらい、インターネットや情報通信機器を正しく使いこなす能力を養うためにお役立ていただければ幸いです。

6 問合せ先

担当：KDDIケータイ教室事務局

電話：0120-925-525 電子メール：keitai-csr@kddi.com

URL <http://www.kddi.com/corporate/csr/activity/anshin/kyoshitsu/gaiyo/index.html>

⑨ 【総合、家庭／出前授業】

対応可能地域
上北

田重菓子舗

お菓子作りにかける思い

校種 小学校・中学校・高等学校
学年 小学校高学年以上
教科等 総合的な学習の時間、家庭、道徳など
単元例 主として集団や社会とのかかわりに関すること(道徳)

1 会社概要

江戸時代に創業、伝統の銘菓七戸駒まんぢゅうのお店です。手造りのお菓子をお届けしています。大量生産はできませんが、お菓子は、皆さんの大切なシーンにかかせないもの。心を込めて、ひとつひとつ作っています。

2 プログラムのねらい・特徴

- いつも何気なく食べているお菓子にも歴史があるということを知る。
- 仕事は一人ではできないということや、仕事をする上での心構えを知る。

3 プログラムの内容 (30～50分)

1. お菓子のはじまり (10分)

お菓子の歴史や、日本に伝わってきた南蛮菓子から現在に至るまでの菓子について学びます。そこから伝統とは何かを探ります。

2. お菓子に関わる人たち (10分)

材料を加工し、商品として販売するまでに、お菓子作りには多くの人の協力があって初めて成り立つということを学びます。

3. お菓子作りの道具について (10分)

実際にお店で使っている菓子作りの道具に触れ、その使い方などについて学びます。

4. 私にとっての仕事 (10分)

菓子を通して、仕事とは生きていくことへの姿勢であるということや、人生で起きる出来事へどのように向き合うかを、私の実体験や仕事を通してお話しします。

5. 女性が働くこと (10分)

女性が仕事することの素晴らしさ、大変さ、そして女性の特性を生かして何ができるかを話します。

4 実施にあたって学校に留意してほしい点

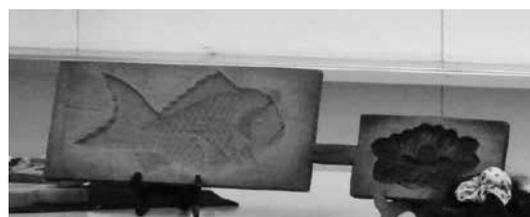
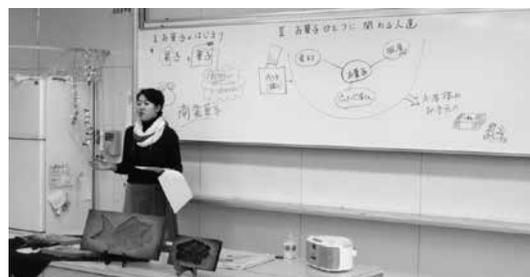
実施校の計画に合わせて内容は変更できます。
8月、11月中旬～12月は、実施のご協力できませんのでご了承ください。

5 メッセージ

【店主より】私は、夢を持つことを勧めるようなお話しはしません。夢がなくともいろいろなことに興味をもつことの大切さを伝えていきたいと思っています。地域に根差したものづくりに関心をいただけるような授業をしたいと思っています。お話しを通して、多様な時代で自分を大切に、また、他人を大切にしてほしいという願いを基本にお話しをしています。

6 問合せ先

田重菓子舗
住所 〒039-2525 上北郡七戸町字七戸 210-4
電話：0176-62-2537 FAX：0176-62-5330
電子メール：arbus52@ybb.ne.jp URL <http://www.taiyuukashiho.com/>



⑩【理科、社会、家庭、総合／出前授業】

対応可能地域
県内全域

株式会社明治 東北支社

明治食育セミナー 「なるほどがいっぱい！みるく教室」

校種	小学校・中学校
学年	全学年
教科等	理科、社会、家庭、総合的な学習の時間
単元例	日常の食事と調理の基礎（家庭）

1 会社概要

菓子、牛乳・乳製品、食品、一般用医薬品の製造販売等を行っています。

今日の食事から、明日の元気が生まれます。日々の”食べること”についてもっと身近に感じてもらうため、私たちは、自然がくれた恵み「乳」や食材を通して楽しく食を学ぶ「明治食育セミナー」をご用意しています。

2 プログラムのねらい・特徴

ナルホドと思えるお話と、あっと驚く実験をセットにできるプログラムを、専門のスタッフがみなさまのところへ「出前」しています。

5つの選べるお話は、各教科（社会、家庭、理科、保健等）と関連させ、視覚的でわかりやすい独自の学習サポートプログラムです。

3 プログラムの内容（約90分）

下記「みるく教室」、「乳の不思議」からそれぞれ1つずつ選んでいただきます。

●みるく教室（おはなし5種、約45分）

- ①乳牛について学ぼう
- ②牛乳について知ろう
- ③牛乳で元気&キレイ
- ④骨って大切！
- ⑤朝ごはんのミラクルパワー

●乳の不思議（体験3種、約45分）

- ①生クリームからバターを作る
- ②牛乳からカッテージチーズを作る
- ③ヨーグルトからフレッシュチーズをつくる



4 実施にあたって学校に留意してほしい点

- ・開催希望日が決まりましたら、余裕を持って2ヶ月以上前までにご一報ください。また、極力ご要望にお応えするため、希望日は第三希望までお知らせください。
- ・開催日が決定いたしましたら、事前の電話（又は訪問）によるお打合せ（30～40分）にご協力をお願いいたします。（実施のねらい、流れ、準備物、子どもたちの現状・アレルギー等）
- ・加熱実験の際は、家庭科室をご準備ください。
- ・「乳の不思議（体験）」のみのお申し込みはできません。
- ・宮城県からご当地へ出張いたしますので、諸事情により日程等について申込時の際のご希望に沿えない場合がございます。
- ・年間10校までとさせていただきます。

5 メッセージ

【企業担当より】「知ること」が楽しくなれば「生きること」がぐっと面白くなる！ナルホドと思えるお話と、あっと驚く楽しい体験がセットにできるプログラムで、皆様の所へおいしい授業を”出前”します。

6 問合せ先

株式会社明治東北支社 食育支援担当

住所：〒983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡3-4-1 アゼリアヒルズ15階

電話：022-792-6002

（参考URL）<http://www.meiji.co.jp/meiji-shokuiku/events/seminar/>

⑪【家庭、総合、特別／出前授業】

対応可能地域
東青／下北
(ただし要相談)

丸文さとう株式会社

制服、着こなしセミナー

校種 中学校・高等学校
学年 全学年
教科等 総合的な学習の時間、特別活動、家庭

1 会社概要

青森市問屋町にある、スクールウェア（制服）、スポーツウェア（体操服）、通学カバン・校内シューズなどの卸小売を行っています。各学校の指定制服や体操服（校内着）、部活動のチームウェアやクラスTシャツ、町内会や企業で使用するタオルや記念品も扱っています。また、ねぶた関連のお土産なども販売しています。

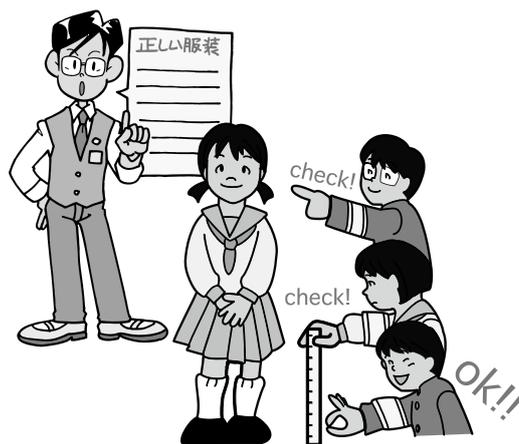
2 プログラムのねらい・特徴

学校が制定している「制服・通学服」の正しい着用方法を中心に、一般衣料のTPOなどを指導・説明します。

生徒の皆さんに通学や式典・校内での制服の着用方法、学校が定めたルールを守ること、制服の役割と着用のしかたを指導します。また社会人になった時の心構えも学べます。自分自身のイメージアップに導きます。

3 プログラムの内容（50分）

- 展開1：（導入）制服とは何？
- 展開2：外見の重要性……他人からの印象
- 展開3：着こなし……身だしなみのポイントを説明
- 展開4：TPOについて
……社会一般の制服やフォーマルを紹介
- 展開5：制服のメリット・デメリット
……実施校の制服基準
- 展開6：まとめ



4 実施にあたって学校に留意してほしい点

- 実施の際には制服の指導基準とシーン別の着用の状況を事前に把握させてください。
- 当日はDVD再生可能なプレーヤーとスクリーン、及び折りたたみテーブル（1800mm、幅は600mm 希望）の準備をお願いします。
- 実施可能期間は、2月・3月以外でお願いします。

5 メッセージ

【先生方の声】通学・校内での制服の着用が統一でき、スマートな着こなしができるようになった。また、地域の皆さんや保護者から規律正しくなったという声が出てきた。生徒指導の基準が生徒と先生の間で統一できた。など

【企業担当より】学校の生徒指導の一助として第三者が説明することにより先生方の悩み解消の手助けになれば幸いです。

6 問合せ先

丸文さとう株式会社
住所：〒030-0131 青森市問屋町1丁目9-22
電話：017-738-4721 FAX：017-738-4725

株式会社 Fractal 設計事務所

建築士の仕事

校種 中学校・高等学校
学年 全学年
教科等 総合的な学習の時間、技術・家庭

1 会社概要

住宅等の建築に必要となる設計や工事の監理（建築設計図面作成・申請書作成）を行っています。

2 プログラムのねらい・特徴

- 建築を通して、ものづくりを考える。
- 環境（自然との共存）を考える。
- 社会道徳を学ぶ。（社会貢献）
- 専門分野の必要性を理解してもらう。
- 自分にとって大切なものや、考える力、守る力、行動する力、実行する力、継続する力、など向上心を養う契機とする。



3 プログラムの内容（約50分）

展開1：仕事とは何か 約15分

社会道徳的な学習を行います。

展開2：実演 約20分

木材を使い家づくりの構造を体験します。

展開3：専門分野の説明及び質疑応答等 約15分

建築士資格取得に必要なこと等を説明します。



4 実施にあたって学校に留意してほしい点

パワーポイントを使った学習のため、大型テレビもしくは、スクリーンを用意してください。パソコンは持参します。

実演に使用する木材を搬入しますので、2、3人お手伝いをお願いします。（200cm×100cm×200cmくらいの大きさになります。）

教室の中央をあけて両端に机を並べてもらいます。（場合によって配置は変わります。）

5 メッセージ

【生徒より】

- 建築士に必要なのは数学と思っていたのに、国語が大事だと知りびっくりしました。（中1）
- 地域の役に立つことが仕事だと言われ、自分も将来役に立ちたいと思いました。（中2）
- 安全で快適な家を設計するのに、いろんな工夫があると知りました。（中2）
- 講師の先生、たくさんのことを教えてくれてありがとうございました。（中1）

6 問合せ先

株式会社 Fractal（フラクタル）設計事務所
住所 〒030-0845 青森市緑2丁目16-21
電話：017-777-5884 FAX：017-721-3563
電子メール：info@fractalarchitect.jp

イマジングループ

祝食を通じて「食」の影響力 を感じる

校種 全校種
学年 小学校高学年以上
教科等 総合的な学習の時間 等

1 会社概要

当社は、ホテル（婚礼、宿泊、宴会、レストラン等）・不動産（賃貸、仲介、建売等）業を主な事業として展開しています。「人と人との出会いを創造すること」をモットーにこれからも人生のイベントには欠かすことのできない存在であり続けられるよう取り組んでいきます。

2 プログラムのねらい・特徴

結婚式という特別な空間を彩るひとつに食があります。食事を提供するまでの流れを理解します。

結婚式は、たくさんのスタッフで支えあって成り立ちます。各々の役割そして規模を知ることによって全体を把握することができます。



3 プログラムの内容（50分）

展開1：会社紹介（5分）

グループの活動内容について映像を見て学びます。

展開2：料理について（適宜）

新郎新婦及び出席者の意向を加味し反映する流れを説明します。

展開3：材料（適宜）等

結婚式に用いる素材等を数値で理解をします。非日常生活及び存在する異空間を体感します。



4 実施にあたって学校に留意してほしい点

- まずは、青森県教育委員会を通しての依頼をお願いいたします。
- DVD再生可能なプレーヤーとスクリーンを用意してください。

5 メッセージ

【企業担当より】色とりどりの素材を匠の技で演出することで、料理ひとつひとつに表情が生まれ、なおかつ繊細な味そしてきめ細やかな料理ができあがっていくことを学ぶことができます。また、当社では、他に上記事業内容に関する出前授業にも対応いたします。

6 問合せ先

青森県教育庁生涯学習課
電話：017-734-9888
（企業担当：イマジングループ出前授業支援部）

写真館ハセガワ

写真教室

校 種 小学校・中学校・高等学校
学 年 全学年
教科等 総合的な学習の時間

1 会社概要

弘前の老舗写真館として、津軽に住む方々の家族写真を中心に撮影してきています。赤ちゃんのお宮参り撮影から七五三・入園入学・卒業・成人・結婚式などの各種記念撮影や、各種ポートレート撮影をしています。

2 プログラムのねらい・特徴

記念写真を残すということは、家族の歴史を残すという役割と、その時代を写真に閉じ込めるという役割があります。また社会風俗として洋服などの歴史を残すことにもつながり「思い出」という記憶の中に埋もれた情景を、写真を見返すことによって鮮やかに甦らせる道具でもあります。

その歴史を刻む写真を撮ることの楽しさを伝え、写される楽しさも体験していただきます。東日本大震災でも「大切なもの」として扱われていた「写真」を楽しく感じていただけるよう工夫し、親子の愛情や友達との友情を感じられるプログラムになるようにしています。

3 プログラムの内容

展開1：基礎を学ぶ

写真館の仕事内容から、写真撮影のための基礎知識などをレクチャーします。

展開2：撮影方法を学ぶ

写真の解説とその写真に対しての撮影方法をレクチャーします。

展開3：カメラマン体験

実際の写真撮影をして頂き、モデル体験と、カメラマン体験をします。あわせて集合写真を撮ります。

展開4：プリント作業

写した写真のセレクトをし、プリントをします。



4 実施にあたって学校に留意してほしい点

時間については、学校の要望に合わせております。長時間の体験を希望される場合、子どもたちに自分の小さい時の写真を持参させてください（特に中学生以上）。

5 メッセージ

【店主より】写真を通して家族や友人の大切さを伝えてきています。大切なできごとを思い出させるツールとしての写真を、もっと楽しく、もっと大切にできるよう伝えていきたいと思っています（撮影した集合写真はこのためのお土産としています）。

6 問合せ先

写真館ハセガワ
住所：〒036-8343 弘前市東長町 64
電話：0172-32-3814 FAX：0172-37-3724
電子メール：info@hasegawa-ps.com

15 【総合、社会／職場見学・体験】

対応可能地域
東青

株式会社 青森冠婚葬祭互助会

冠婚葬祭の仕事について学ぶ （「人」と「人」との絆を深める仕事）

校種 全校種
学年 全学年
教科等 総合的な学習の時間、社会

1 会社概要

冠婚葬祭という儀礼を通じて「人」と「人」との絆を深めることに喜びを共有し、多くのお客様の満足を通じて会員システムを発展させ新しい儀礼文化を創造する会社です。

2 プログラムのねらい・特徴

- ・冠婚葬祭を広く、身近に知ってもらう。
- ・葬儀の役割、働く姿、思いを理解する。

3 プログラムの内容

展開1：会館（平安閣）施設の見学

- ・堤町にある当社の「平安閣アネックス」「平安閣本館」を見学してもらいます。

展開2：葬儀の流れを勉強してもらう

- ・お迎えに伺ってから、お通夜、葬儀、法要までの流れを勉強してもらいます。

展開3：取引業者の仕事の見学

- ・仕出し屋さん、お花屋さん、お菓子屋さん、写真屋さん、果物屋さん等、主だった業者さんのお仕事を見学してもらいます。

4 実施にあたって学校に留意してほしい点

- ・動きやすい服装でお願いします。

5 メッセージ

【企業担当より】私たちはこれからも「心の絆を大事に」の経営理念のもと、心ひとつに「地元のための、地元による、地元の互助会」として、青森市に貢献いたします。

6 問合せ先

株式会社青森冠婚葬祭互助会お客様相談室
住所：〒030-0822 青森市中央 1-27-10
電話：017-735-1407



有限会社ソノダビューティースタジオ

美容師の仕事学ぶ

校種	小学校・中学校・高等学校
学年	小学校高学年以上
教科等	総合的な学習の時間、道徳
単元例	主として他の人とのかわりに関すること（道徳）

1 会社概要

当社は理美容、エステ、婚礼関連業として市内に10店舗、事業展開しています。社員は35名と同業規模では大きいです。社員の技術教育も定期的を実施しています。

「明るく、楽しく、前向きに、元気に」を基本に、接客業を楽しく！

2 プログラムのねらい・特徴

- 接客業の難しさ楽しさを知る。
- コミュニケーション能力を高める。
- 挨拶やマナー、身だしなみなど、魅力あふれる人づくり。
- 理美容業の理解を深める。
- 「対人関係力」「ホスピタリティマインド」の向上を目的に、「きめ細かな配慮」や「心づかい」「気配り」等自己を把握しながらキャリアデザインを明確にし、キャリアビジョンの設定やキャリアプランの作成が、自ら容易にかつ具体的にできるものであることを目指す社会人づくり。

3 プログラムの内容

職場体験（中学校）場合

展開1：仕事内容を学ぶ

接客業の難しさ、楽しさを学びます。

展開2：マナーを学ぶ

挨拶や身だしなみ、気配りの大切さについて学びます。

展開3：店舗での体験

掃除や片づけの手伝いを行います。

展開4：まとめ、振り返り



4 実施にあたって学校に留意してほしい点

季節に関係なく繁忙期があるので、事前に確認の連絡をお願いします。

上記プログラムの他、小学校での出前授業や高校生のインターンシップなど受け入れておりますので、ご相談ください。

5 メッセージ

【企業担当より】美容師の仕事は美的センス、美をトータルにプロデュースする能力はもとより、接客業としてのスキルや営業スキルも必要な仕事です。

接客業の基本はコミュニケーション能力です。挨拶ができ、マナーを理解して魅力あふれる社会人を目指してください。

6 問合せ先

有限会社ソノダビューティースタジオ

住所：〒035-0071 青森県むつ市小川町2-7-20

電話：0175-22-4145

第3章

地域とつながる キャリア教育実践のための参考資料



①教育支援プラットフォーム活用のススメ

「我が社は学校教育サポーター」への依頼をするには

県教育委員会では、教育支援活動に協力して下さる企業・NPO等を「我が社は学校教育サポーター」として登録（平成26年2月末現在838社）しています。

県教育委員会ホームページではその一覧を以下のような形で公開し、地域の企業・NPO等ができる教育支援活動の内容を分かりやすく紹介しています。また、出前授業や職場体験活動の依頼方法や必要な様式についても紹介しています。

<http://www.pref.aomori.lg.jp/bunka/education/platform-list.html>

No.	企業名	地区	郵便番号	所在地	電話番号	企業種別	当社ができること	我が社ができる学校サポート			
								出前授業	職場見学	職場体験	学校(小)事業員(G)
1	株式会社 セントラルホーム 株式会社 フラクタル設計事務所	東青	030-0845	青森市緑2-16-21	017-721-3560 017-777-5884	建設業	出前講座では、建築士について、どんな仕事？どうして免許が必要なの？など、児童の疑問に専門家がお答えします。建築、住まい、地震に強い建物・環境問題など、建築に関する講話・講習ができます。(小・中学生向け) 職場見学では、一般的な住宅建築に必要な木材工場の見学ができます(木材加工見学)。建築中の現場見学ができます。現場見学では、時期によって、大工さんの見学ができます。	○	○	○	G
17	株式会社 佐藤渡辺 青森営業所	東青	038-0031	青森市三内字沢部306-19	017-787-2111	建設業	職場見学では道路がどのように作られているのか、材料・工法・機械等の説明をしながらの見学となります。	○	○		G
25	アークコンサル 株式会社	東青	030-0124	青森市田茂木野字阿部野1-5	017-738-1700	建設業	測量・設計業務の職場見学や職場体験が可能です。	○	○		G
81	有限会社 松竹梅造園	東青	038-0031	青森市三内字沢部182	017-782-8583	建設業	職場見学では、造園業について説明します。 ・造園一瞥、養生、剪定、薬剤散布、除草、伐採 ・土木・石積、基礎コンクリート、石積 ・サードスー・資機材	○	○		S
87	大矢建設工業 株式会社	東青	030-0111	青森市荒川字品川126-1	017-739-5205	建設業	・出前授業では、産業廃棄物の処理方法と処理の重要性、解体・土木工事についての講話を行うことができます。 ・職場見学では、産業廃棄物の処理施設と工事現場を見せながら処理やリサイクル、工事について説明します。 ・職場体験では、産業廃棄物の処理や工事の進め方を体験させます。 ・この他企業体験、企業研修としての教職員、保護者の受入も可能です。	○	○	○	G
145	青森設備工業株式会社	東青	038-0011	青森市藤田三丁目10-2	017-786-2421	建設業	職場見学や体験などで、水道屋さんなどがどんな仕事をし、社会に役立っているのかの実際を見てもらい、社会への理解を深めてください。 出前授業については、ご相談ください。	○	○	○	S
214	株式会社 タフホーム	東青	038-0041	青森市岡町字松本9-9	017-788-5501	建設業	・職場見学や職場体験では、設計に使用するCAD(パソコン)の体験や建設中の建物見学、住宅を建てるための資料をあらかじめ加えるワークショップ等の見学ができます。 ・出前授業では、免許等を取る方法についてお話できます。				
346	株式会社ユアテック 青森支社	東青	030-0135	青森市新町野字岡部63-1	017-738-9100	建設業	工業高校生を対象とした、職場体験・インターンシップの実施をしています。				
	山崎組	東青	030-0933	青森市廣訪沢字岩田51-1	017-726-2461	建設業	・出前授業では、				

我が社は学校教育サポーター 一覧

仲介依頼を行う場合に「紹介連絡票」を、活動終了後には「活動報告書」の提出をお願いします。以下の様式はそれぞれ県教育委員会ホームページからダウンロードできます。

http://www.pref.aomori.lg.jp/bunka/education/platform-list_sho-hou.html

<p>青森県教育支援プラットフォーム事務局 殿</p> <p style="text-align: right;">平成 年 月 日</p> <p style="text-align: center;">「我が社は学校教育サポーター」紹介連絡票</p> <p>以下のとおり「学校教育サポーター」の紹介を依頼したいので、連絡票を送付します。</p> <table border="1"> <tr><td>1</td><td>学校名</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>代表者・職氏名</td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td>連絡先(住所)</td><td>〒</td></tr> <tr><td>3</td><td>依頼担当者・職氏名</td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td>学年・分掌等</td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td>副担当者・職氏名</td><td>※依頼担当者不在の場合に連絡が取れる方のお名前</td></tr> <tr><td>6</td><td>連絡用電話番号</td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td>連絡用FAX番号</td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td>E-mailアドレス</td><td></td></tr> <tr><td>(1)</td><td>依頼項目</td><td>出前授業・職場見学・職場体験 ※該当する項目に○をつけてください。</td></tr> <tr><td>(2)</td><td>取組名称(教科等)</td><td></td></tr> <tr><td>(3)</td><td>依頼内容</td><td></td></tr> <tr><td>(4)</td><td>開催時期</td><td></td></tr> <tr><td>(5)</td><td>対象学年</td><td></td></tr> <tr><td>(6)</td><td>対象人数</td><td></td></tr> <tr><td>(7)</td><td>希望する職種等、登録企業の名称と番号</td><td></td></tr> <tr><td>(8)</td><td>備考 その他連絡事項等</td><td></td></tr> </table>	1	学校名			代表者・職氏名		2	連絡先(住所)	〒	3	依頼担当者・職氏名		4	学年・分掌等		5	副担当者・職氏名	※依頼担当者不在の場合に連絡が取れる方のお名前	6	連絡用電話番号		7	連絡用FAX番号		8	E-mailアドレス		(1)	依頼項目	出前授業・職場見学・職場体験 ※該当する項目に○をつけてください。	(2)	取組名称(教科等)		(3)	依頼内容		(4)	開催時期		(5)	対象学年		(6)	対象人数		(7)	希望する職種等、登録企業の名称と番号		(8)	備考 その他連絡事項等		<p>青森県教育支援プラットフォーム事務局 殿</p> <p style="text-align: right;">平成 年 月 日</p> <p style="text-align: center;">「我が社は学校教育サポーター」活動報告書</p> <p>以下のとおり「学校教育サポーター」に係る活動報告書を提出します。</p> <table border="1"> <tr><td>1</td><td>学校名</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>代表者・職氏名</td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td>連絡先(住所)</td><td>〒</td></tr> <tr><td>3</td><td>担当者・職氏名</td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td>連絡用電話番号</td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td>連絡用FAX番号</td><td></td></tr> <tr><td>6</td><td>E-mailアドレス</td><td></td></tr> <tr><td>(1)</td><td>学校教育サポーター名称</td><td>※取組を支援した登録企業等の名称を記載してください。</td></tr> <tr><td>(2)</td><td>活動項目</td><td>出前授業・職場見学・職場体験 ※該当する項目の先頭に○をつけてください。</td></tr> <tr><td>(3)</td><td>開催日</td><td></td></tr> <tr><td>(4)</td><td>取組名称(教科等)</td><td></td></tr> <tr><td>(5)</td><td>活動概要 (対象学年と対象人数を合わせて記載してください)</td><td></td></tr> <tr><td>(6)</td><td>備考 (今回の取組での気づきなど)</td><td></td></tr> </table> <p style="text-align: center;">○お忙しい中、ご報告いただき感謝しております。本取組の要項や報告書がありましたら、送付できれば幸いです。</p>	1	学校名			代表者・職氏名		2	連絡先(住所)	〒	3	担当者・職氏名		4	連絡用電話番号		5	連絡用FAX番号		6	E-mailアドレス		(1)	学校教育サポーター名称	※取組を支援した登録企業等の名称を記載してください。	(2)	活動項目	出前授業・職場見学・職場体験 ※該当する項目の先頭に○をつけてください。	(3)	開催日		(4)	取組名称(教科等)		(5)	活動概要 (対象学年と対象人数を合わせて記載してください)		(6)	備考 (今回の取組での気づきなど)	
1	学校名																																																																																										
	代表者・職氏名																																																																																										
2	連絡先(住所)	〒																																																																																									
3	依頼担当者・職氏名																																																																																										
4	学年・分掌等																																																																																										
5	副担当者・職氏名	※依頼担当者不在の場合に連絡が取れる方のお名前																																																																																									
6	連絡用電話番号																																																																																										
7	連絡用FAX番号																																																																																										
8	E-mailアドレス																																																																																										
(1)	依頼項目	出前授業・職場見学・職場体験 ※該当する項目に○をつけてください。																																																																																									
(2)	取組名称(教科等)																																																																																										
(3)	依頼内容																																																																																										
(4)	開催時期																																																																																										
(5)	対象学年																																																																																										
(6)	対象人数																																																																																										
(7)	希望する職種等、登録企業の名称と番号																																																																																										
(8)	備考 その他連絡事項等																																																																																										
1	学校名																																																																																										
	代表者・職氏名																																																																																										
2	連絡先(住所)	〒																																																																																									
3	担当者・職氏名																																																																																										
4	連絡用電話番号																																																																																										
5	連絡用FAX番号																																																																																										
6	E-mailアドレス																																																																																										
(1)	学校教育サポーター名称	※取組を支援した登録企業等の名称を記載してください。																																																																																									
(2)	活動項目	出前授業・職場見学・職場体験 ※該当する項目の先頭に○をつけてください。																																																																																									
(3)	開催日																																																																																										
(4)	取組名称(教科等)																																																																																										
(5)	活動概要 (対象学年と対象人数を合わせて記載してください)																																																																																										
(6)	備考 (今回の取組での気づきなど)																																																																																										

県教育委員会では、出前授業や職場体験活動等がより効果的に実施できるよう、そのポイント、事前打合せや実施当日までの流れ等のノウハウについてまとめ、学校と企業等の両者が共通理解を図れるようハンドブックを作成し、県内すべての学校及び「我が社は学校教育サポーター」登録事業所に配付しています。

【構成】

- ・キャリア教育とは何か？
- ・学校と地域を結ぶ仕組みづくり、
- ・学校と地域の連携によるキャリア教育の方法
- ・出前授業のポイント
- ・職場体験活動のポイント
- ・教育支援活動に関する企業のメリットは？
- ・学校とはこんなところです
- ・企業の考えを知りましょう
- ・職場体験活動の学校での流れ
- ・書式サンプル（職場体験活動用）



職場体験活動のポイント

企業向け + 学校向け

職場体験活動の効果

子どもたちにとって

- 働くことの大切さや喜びを知り、達成感や責任感が身に付きます。
- コミュニケーションの大切さ、相手の気持ちを考えることの大切さ学びます。
- 社会人としての基本的な礼儀、あいさつ、マナー等を身に付けることができます。
- 自分の個性や特性を知り、今後の生き方について考えるようになります。
- 自分の行動に責任を持つようになり、自分に自信を持つようになります。
- 体験等を通して、保護者の仕事に誇りを持つとともに、保護者を見る目が変わります。
- 地域の人との関わりを通して、今まで知らなかった地域を深く再発見できます。

職場体験活動の基本的な流れ

※この流れは、学校と企業の直接交渉により実施することを想定したものです。「教育支援プラットフォーム」を活用する場合、事前の打合せを簡潔に進めることができます。

学校

事前学習
・仕事や働くことの意義、職業の内容の理解
・自分の将来像や夢

受入れの打診・依頼

事前打合せ

職場体験活動の実施

事後学習
・礼状の作成
・報告書の作成
・発表会でのプレゼンテーション 他

企業

受入れ企業

受入れについての検討・回答

ふりかえり

発表会への参加

企業の考えを知りましょう

学校と企業等が連携・協働する職場体験活動等において、学校側の考え方や対応の仕方によって、企業等が戸惑いや不信感を持つ例が見受けられます。双方の信頼を高め、より良い活動がなされるよう、企業等が学校に対して感じていることや考えていることを確認してください。

◇依頼が電話で来ただけで、打合せがないままに実施に至る。

文章のやり取りだけで、担当職員との打合せがない場合があります。たとえ職場体験活動を受け入れの際、「学校では、受入れ先がどんな職場なのかを見なくていいのだろうか」、「受入れ先で作業することは何なのだろうか」などと考えています。たとえ昨年も受入れてくれた企業でも、事前打合せで双方の考えをすり合わせておくことが必要です。

◇地元企業だから、学校に協力してもらうのは当たり前という意識が強い。

生徒を受入れるためには、業務の実際と体験を異なしてほらず、忙しい時期には受入れができません。企業は特に地元の学校の要望を受け入れたいと考えていますが、やむを得ず断ることもあります。学校に近い企業だから当然受入れてくれるだろうという思いが強ければ、「企業に対する理解が足りないと、相手に失礼な印象を与えかねません。」

◇職場体験活動にきた生徒のやる気が感じられない。

企業では、生徒は「うちの会社に興味があるのだから」と理解していますが、実際はそうならない場合がほとんどです。学校では生徒に、事前に受入れ先企業や職種について調べさせるなどして、受入れ企業に対する理解とモチベーションを上げさせる工夫が求められます。
※「就業体験活動実施要領（受入れ先企業様宛シート）」（P2）を参照してください。

◇職場体験活動が終わった後の結果報告がない。

企業では、職場体験の成果を確認したいものです。生徒の感想や職場体験活動で学んだこと、得られたことなどを、受入れ先に伝えてください。職場体験活動実施会の案内をすることもいいと思います。お礼の文書だけでなく、校長・教頭等から電話で御意見を伝えたり、学校だより、PTAだより等で、職場体験活動に協力いただいた企業を紹介したりすることで、信頼関係が深まり、継続した取組につながっていきます。

◇「どのようにすればいいのか」と「おまかせします」と言われる。

学校側としては、細くお願いすることは申し訳ないという考えかも知れませんが、企業ではどんなことを学校にさせたのか、生徒は何に興味があるのかなどを考慮に入れて受入れたいと考えています。「おまかせします」という言葉は、無責任だと捉えられかねませんので、学校の要望を伝えましょう。

◇生徒に事故があった場合の補償はどうなっているのか？

子どもたちを必ず守るわけですから、受入れ先で何万が一の事故の補償は、受入れ先での責任を定めて、学校から詳しく聞きたい事項です。生徒が入っている保険が適用できる範囲や、学校で職場体験期間中に傷害保険に加入しているなどの情報は、文書での記録の簿にも記載して受入れ先にお知らせください。

◇あいさつ、身だしなみなど、学校での事前指導はどうなっているのだろうか？

どのような事前指導をしているのかを受入れ先に説明し、あいさつ・マナーについては、改めて受入れ先でも指導してほしいと伝えてください。受入れ先からはその会社にかかわる就業事項を持って、最初に生徒に伝えておくことが重要ですが、受入れてもらう生徒の特徴や性格なども受入れ先に伝えておきたい事項です。

このハンドブックは県教育委員会ホームページからダウンロードできます。
<http://www.pref.aomori.lg.jp/bunka/education/platform-handbook.html>

53

第1章

第2章

第3章

②キャリア教育の指針、キャリアノートの活用について

生きる・働く・学ぶをつなぐ 青森県教育委員会キャリア教育の指針

青森県教育委員会では、平成24年3月に「キャリア教育の指針〈総論編〉」を策定しました。この指針では、キャリア教育のとらえ方を明らかにしたうえで、指針全体を貫くキーワードとして、「人とのかかわり」と「体験活動」を掲げ、各学校や地域、家庭でキャリア教育を展開していく際の考え方や進め方について示しています。

また、平成26年3月には「キャリア教育の指針〈実践編〉」を発行しました。平成23～25年度にかけて本県教育委員会が実施した「明日へはばたけあおもりっ子キャリア教育実践事業」において、研究指定校の小・中・高等学校が、校種間において連携した取組（縦の連携）と、地域や企業等と連携した取組（横の連携）の実践をまとめたものです。



(総論編)



(実践編)

「キャリア教育の指針」は県教育委員会ホームページからダウンロードできます。

<http://www.pref.aomori.lg.jp/bunka/education/kyariakyouiku.html>

あおもりっ子キャリアノート 明日へのかけ橋

このノートは、子どもたちが自分自身やふるさとについて記録し振り返るノートです。子どもたちがやってきたこと、感じたこと、考えたことを小・中・高等学校の12年間記録することで、自分自身の成長の足跡をたどることができます。

1年1年の成長は自分に自信を与え、意欲的に学校生活を送ることができるとともに、将来の夢や目標に向けてチャレンジしていく意欲を持たせてくれます。

また、教師にとっては子どもたちのキャリア学習の足跡を知る資料となり、学年や校種が変わっても継続した指導に結び付けることができるものとなっています。



「キャリアノート」は県教育委員会ホームページからダウンロードできます。

http://www.pref.aomori.lg.jp/bunka/education/kyaria_noto.html

参 考 文 献

- ①「生きる・働く・学ぶをつなぐ 青森県教育委員会キャリア教育の指針〈総論編〉」
青森県教育委員会 平成24年3月
- ②「キャリア教育を進めるための出前授業職場体験活動ハンドブック」
青森県教育庁生涯学習課、青森県総合社会教育センター 平成25年3月
- ③「生きる・働く・学ぶをつなぐ 青森県教育委員会キャリア教育の指針〈実践編〉」
青森県教育委員会 平成26年3月
- ④文部科学省「子どもと社会の架け橋となるポータルサイト」



このポータルサイトでは、学校と地域・社会や産業界等をつ結びつけ、より数多くの学校で、学校と地域・社会や産業界等とが連携・協働した教育活動が行われるようにするため、「地域・社会や産業界等が提供できる支援」と「学校側が望む支援」をそれぞれ書き込むことができ、相互に閲覧し、連絡を取ることが可能となっています

<http://kakehashi.mext.go.jp/>

企画・発行
青森県教育庁生涯学習課

〒030-8540

青森県青森市新町二丁目3-1

TEL 017-734-9888

FAX 017-734-8272

発行年月 平成26年3月

つながろう地域と!つなげよう未来へ!
地域ので夢を育む
教育支援活動プログラムメニュー集

このメニュー集は青森県庁のホームページからダウンロードできます。

<http://www.pref.aomori.lg.jp/bunka/education/platform-handbook.html>

この印刷物は 2,000 部作成し、印刷経費は 1 部あたり 94.5 円です